

STAR

フォレージハーベスター

取扱説明書・部品表

製品コード K38146 · K38155

型式 MFH3520 · MFH3530

部品供給型式 MFH3520-01 · MFH3530-01

ロークロップアタッチメント

製品コード K38147

型式 ARC3520

部品供給型式 ARC3520-01

ピックアップアタッチメント

製品コード K38082

型式 APU3500

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、**!**印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

! 危険

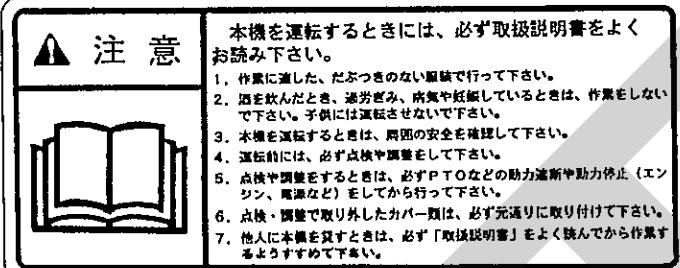
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

! 警告

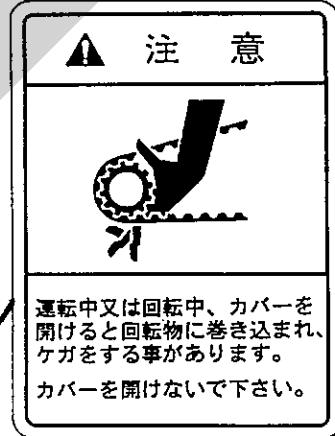
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

! 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



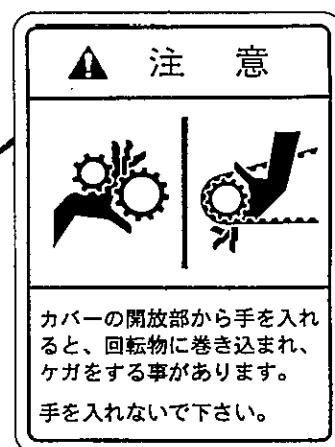
部品番号 106164



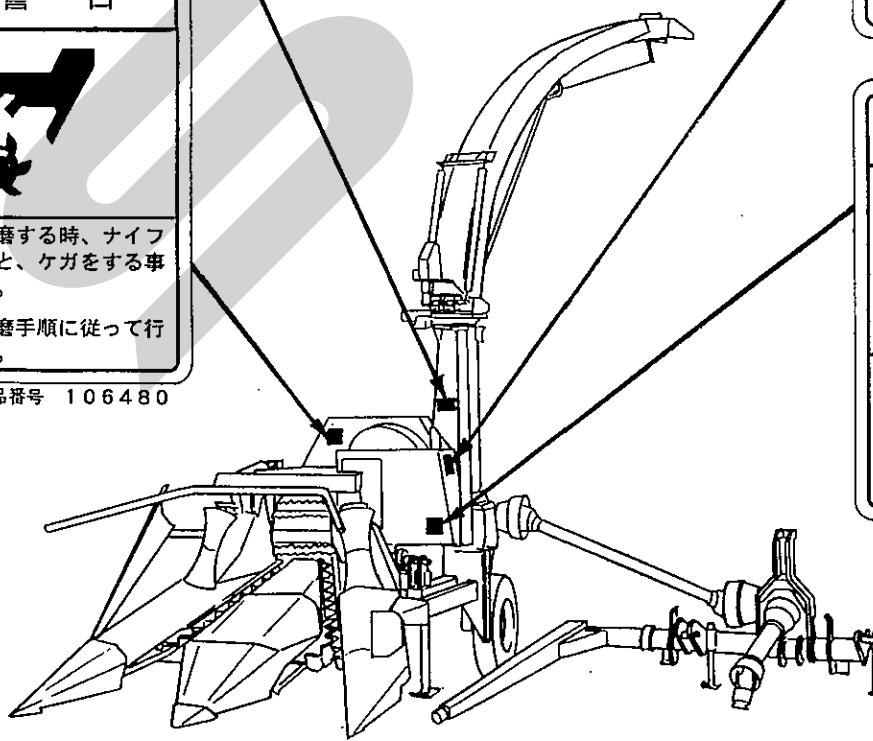
部品番号 106171

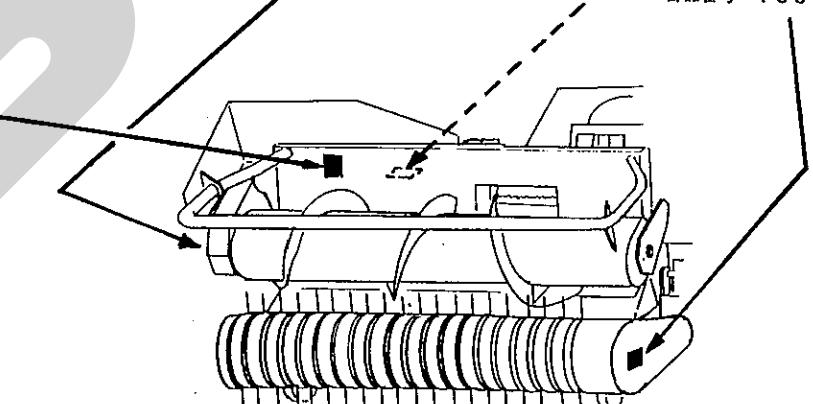
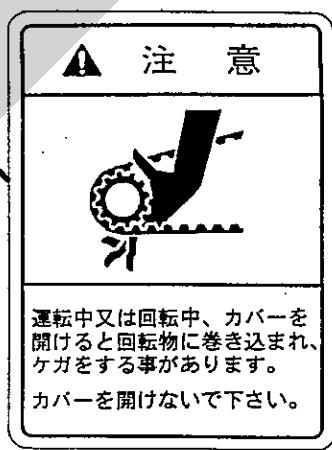
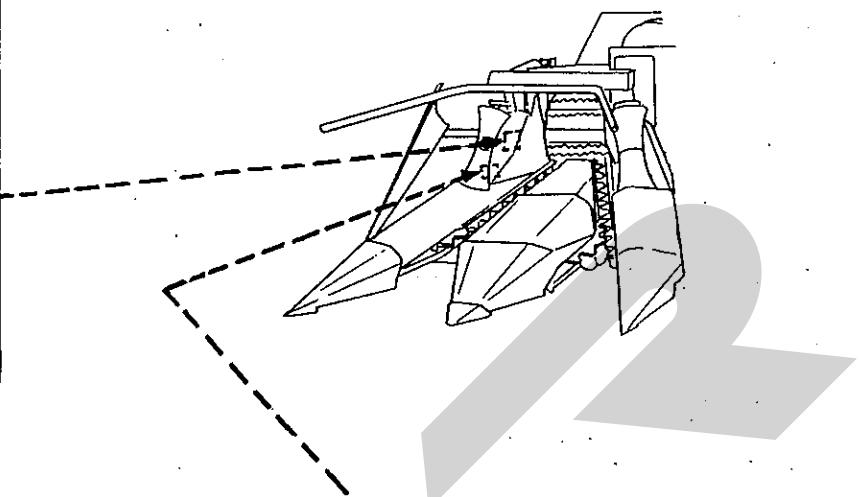


部品番号 106480



部品番号 106478





— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。
ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。
注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態の対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。

運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。

主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- P T Oを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。

P T Oを切ってから始動してください。

- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こすことがあります。
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- トラクタの3点リンクに本機を着脱するためにトラクタを移動させる時トラクタと本機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 本機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをすることがあります。
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねくことがあります。
トラクタヘバンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。
- バッテリからバッテリケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行なってください。
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触し火花が生じ、火災事故の原因になります。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。
損傷したらすぐに取り替えてください。

使用前には、損傷がないか点検してください。

- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランブピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。

作業中は

作業する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。
手供給する時は、搬送チェーンの動力を遮断してから行ってください。
- 運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないで下さい。
ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、PTOおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。
特に、子供は近づけないようにしてください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをすることがあります。
指定回転速度を守ってください。
- ロークロップ部あるいは本機に長穀作物が詰まった時、手や足で押し込むと巻き込まれ、ケガをすることがあります。
手足での押し込みはやめてください。
詰まりの除去を行う時は、PTO及びエンジンを切ってから行ってください。
- コーン引き起こし装置を装着した状態で手供給すると巻き込まれケガをすることがあります。
危険ですのでやめてください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをすることがあります。
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねくことがあります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

- 高速運転・急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んで、思わぬ事故を起こす事があります。
高速運転・急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふぐれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。
路肩は走行しないでください。
- 高低差が大きい段差を乗り越えようとするとき、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 作業機を折りたたまざに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。
折りたたんで、移動させてください。

▲注意

- 本機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時転倒してケガをする事があります。
低速走行してください。
- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります
しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

本機から離れる時は

▲警告

- 本機から離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- 本機から離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてから本機を離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をする時は

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整

を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲警告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し、取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。
- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入りケガをすることがあります。
保護メガネを着用してください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づいてください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります
下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	6
作業前に	3	不調処置・点検・整備をする時	6
作業中は	5		

I ハーベスタ本体

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	11	4 トラクタへの装着	13
2 適応トラクタの範囲	12	1. 3点リンクへの ドッキングフレームの連結	13
3 組立部品	13	2. ドッキングフレームと ハーベスタ本体の連結	14
1. 解梱	13	3. スイッチボックスの取付・配線	15
2. 組立部品の明細	13	5 パワージョイントの装着	16
3. 組立	13	1. 長さの確認方法	16
		2. 切断方法	17
		3. 安全カバー脱着方法	17
		4. パワージョイントの連結	18

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	18	2 エンジン始動での点検	19
1. トラクタ各部の点検	18	3 給油箇所一覧表	20
2. 連結部の点検	18		
(1) 3点リンクと 3点フレームの連結部点検	18		
(2) パワージョイントの点検	18		
(3) 油圧系統の点検	19		

3 作業の仕方

1 本機の使用目的	22	4. 研磨装置	23
1. ロークロップアタッチ装着時	22	5. ナイフの研磨	23
2. ピックアップアタッチ装着時	22	6. 切断長の調整	24
2 作業要領	22	7. シャーボルト	24
3 各部の調整	22	8. タイヤの空気圧	24
1. ナイフの調整	22	9. クラッチ	24
2. ロールスプリングの調整	22	4. 運搬	25
3. スクレーパの調整	23	1. 本体の取り外し	25

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	25	2 長期格納する時	25
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	26
-----------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	27
-----------	----

部品表 46

II ロークロップアタッチメント

1 本体への装着

1 各部の名称とはたらき	28	3 本体への装着	30
2 組立部品	29		
1. 解梱	29		
2. 組立部品の明細	29		
3. 組立	29		

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	30	3 給油箇所一覧表	31
2 エンジン始動での点検	30		

3 作業の仕方

1 本機の使用目的	32	3 各部の調整	33
2 作業要領	32	1. ギャザリングチェーンの張り	33
1. 刈り取り作業	32	2. ナイフ(ロータリー刃)	33
2. 条間の調整	33	3. シャーボルト	34
		4. クラッチ	34

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	35	2 長期格納する時	35
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	36
-----------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	37
-----------	----

部品表	63
-----	----

III ピックアップアタッチメント

1 本体への装着

1 各部の名称とはたらき	38	3 本体への装着	39
2 組立部品	39			
1. 解梱	39			
2. 組立部品の明細	39			
3. 組立	39			

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	39	3 給油箇所一覧表	40
2 エンジン始動での点検	39			

3 作業の仕方

1 本機の使用目的	40	3 各部の調整	41
2 作業要領	40	1. オーガスプリングの調整	41
			2. スリップクラッチの調整	41
			3. オーガテンションの調整	41

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	42	2 長期格納する時	42
-----------	-------	----	-----------	-------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	43
-----------	-------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	44
-----------	-------	----

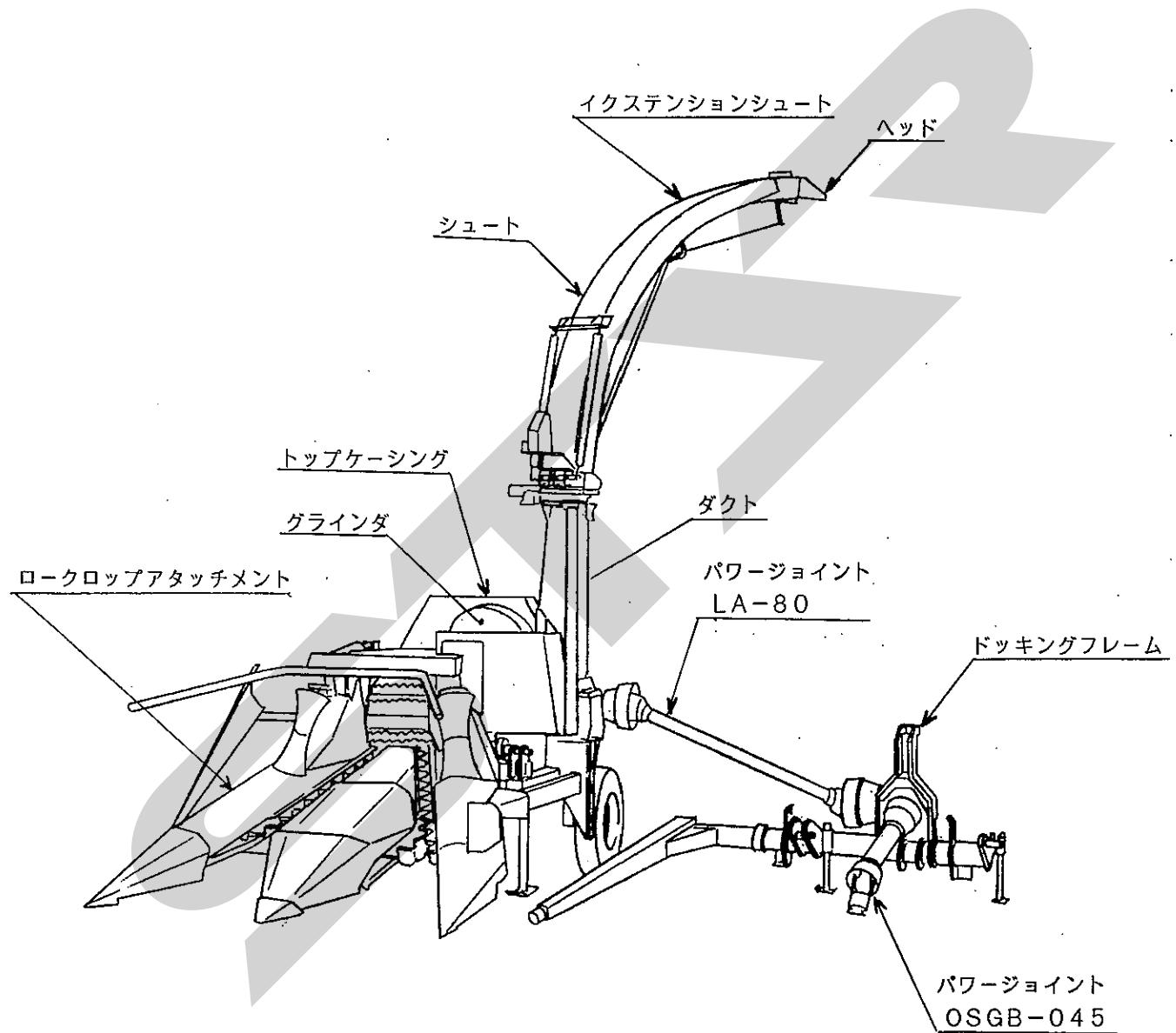
部品表 69

I ハーベスター本体

1 トラクタへの装着

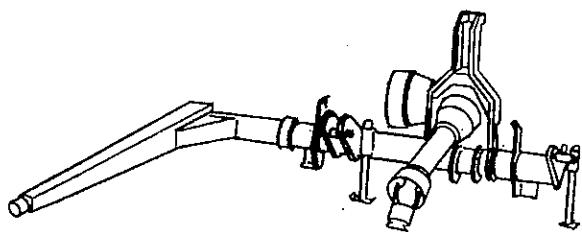
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



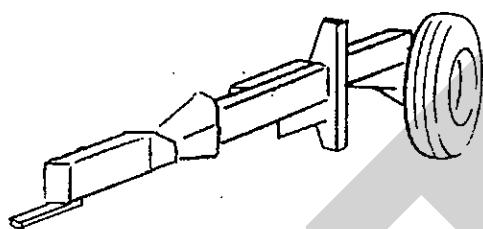
1. ドッキングフレーム

トラクタに装着してハーベスター本体との連結、動力の供給及び移動に使用します。



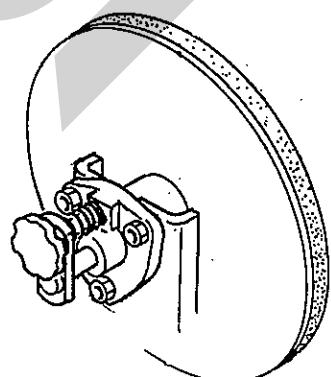
2. カウンタパイプ

ハーベスター本体とドッキングフレームを連結するための本体側の連結装置です。



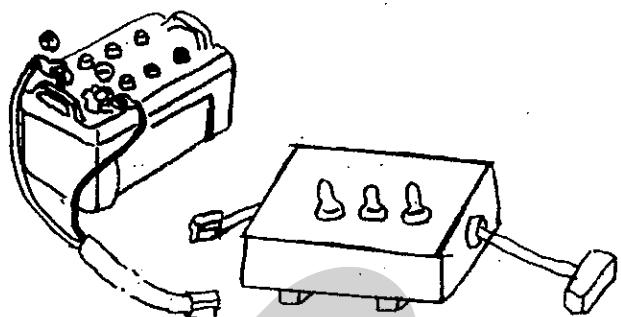
3. グラインダ

ナイフを研磨する装置です。



4. スイッチボックス

トラクタに座ったままシートの回動、ヘッドの上下作動、フィードロールの正逆回転の切り替えに使用します。



5. パワージョイント ; OSGB-045

トラクタからハーベスター本体へ動力を伝達します。

6. パワージョイント ; LA-33

パワージョイント ; LA-80

ドッキングフレームからハーベスター本体へ動力を伝達します。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

トラクタ馬力	
MFH3520	60 ~ 90 P s
MFH3530	

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがないことがあります。

逆に、適応馬力よりも大きなトラクタでのご使用時には、過負荷に対し機体の適正值を越えたパワーがでてしまい、本機の破損の原因になります。

3 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

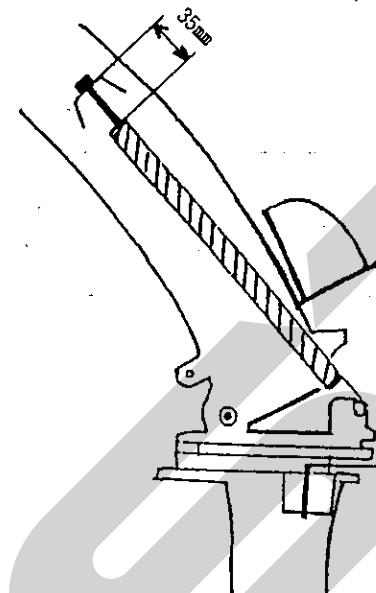
2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

- (1) タイヤ、カウンタパイプを取り付ける。
- (2) ダクトを本体に取り付ける。
- (3) ダクトにシートを取り付ける。
- (4) シート折りたたみのスプリングを取り付ける。長さ調整は図示寸法を参考に操作力を確かめながら行なってください。



- (5) その他の部品を部品表を参考に取り付けてください。

4 トラクタへの装着

ドッキングフレームを、先に次の手順で装着してください。

1. 3点リンクへのドッキングフレームの連結

▲ 警 告

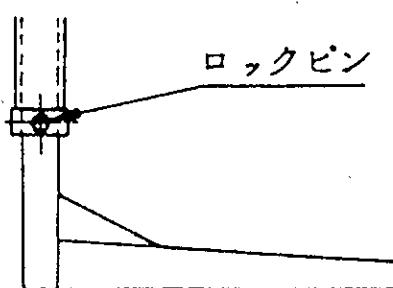
- トラクタの3点リンクに本機を着脱するためには、トラクタを移動させる時、トラクタと本機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲ 注 意

- 本機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行なうと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

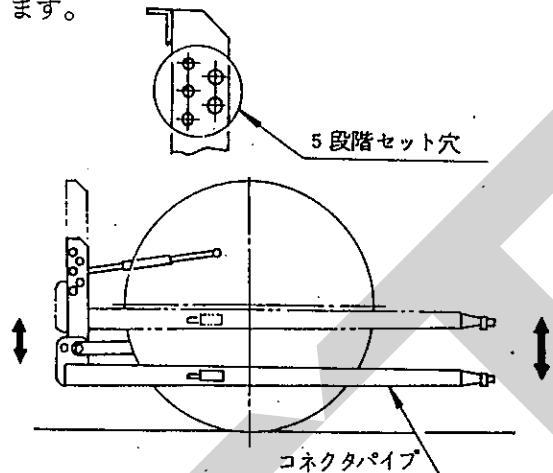
- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのロワーリンク先端部とドッキングフレームの左右のロワーリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のロワーリンクを連結し、抜けどめにトラクタに付いているリンチピンをロワーリンクピンに差してください。
次に、右のロワーリンクも同順で行ってください。
- (3) 左右のロワーリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタロワーリンクの幅が狭い場合は、ロワーリンクピンを内向きで使用してください。
- (5) トラクタのエンジンを始動し、トラクタ3点リンクを昇降する油圧レバーを操作してドッキングフレームを少し上げ、エンジンをとめてください。
- (6) P I C軸心がトラクタ中心におおよそ一致する位置に、チェックチェーンでセットし、本機の横振れをなくしてください。
- (7) スタンドを上げ、デルタピンで固定してください。

- (8) コネクタパイプは3段階に調整できます
コネクタパイプとトラクタとのスキ間は10cm
～15cmにしてください。



- (9) ドッキングフレームのコネクタパイプが水平もしくは先端が少し上向きに上下するよう
に5段階の穴で調整してください。

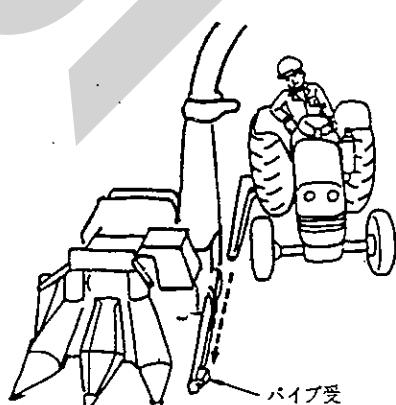
トップリンクピンの位置をトラクタ側が高
くなるように取り付けるとほぼ水平に上下し
ます。



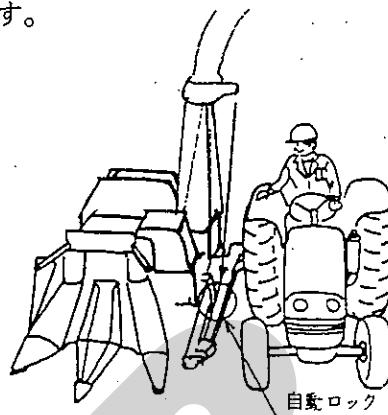
2. ドッキングフレームとハーベスター本体の連結

(1) サイドマウント作業

- ① 本体後方より接近し前進しながらコネク
タパイプ受にコネクタパイプ先端を差し込
みます。

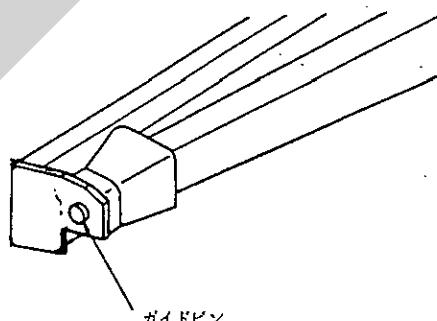


- (2) コネクタパイプ先端が差し込まれたら油圧
で本体を持ち上げ、さらに前進すると自動ロッ
クにより本体とドッキングフレームが固定さ
れます。



取扱上の注意

ガイドピンがコネクタパイプ受前部からで
ていることを確認してください。(約30mm)
ガイドピンは作業中、本体の脱落を防止す
るもので
(ガイドピンが出ない時は「6 不調時の対
応」で確認してください)

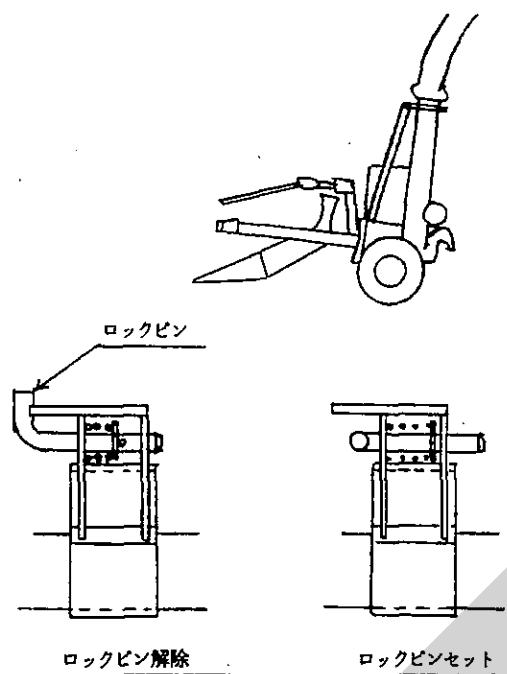


- (3) 本体P I C軸のパワージョイントを、ドッ
キングフレームのギヤケースのP T O軸と連
結し安全カバーの回り止めをしてください。

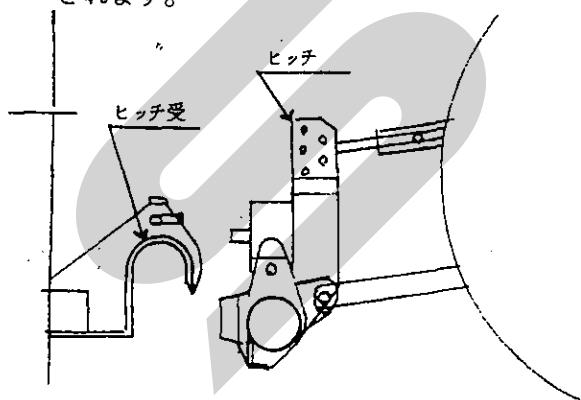
(2) リバース作業

① ドッキングフレームのコネクタパイプを垂直に立て一番短くなる位置にロックピンで固定します。(中割、枕地作業)

本体側のロックピンをストップよりはずしフリーの状態にします。このとき、本体側の姿勢が後傾しているか確認してください。(本体側のタイヤの高さで調整します)



② 本体後方よりバックで接近し油圧操作によりヒッチパイプでヒッチ受をすくい上げてください。ロックピンが自動的にセットされます。



取扱上の注意

ロックピンは作業中に本体の脱落を防止するものですから必ずセットされているか確認してください。

3. スイッチボックスの取付・配線

(シュート・ヘッドのリモコン操作)

(1) コード；1(電源コード)をバッテリーティナルへの取付ます。

コード；1(電源コード)のターミナルはトラクタのバッテリーコードのターミナルを止めているボルトと共に締めにしますのでバッテリーから(-)、(+)共にコードを外してください。

(コードを外すときは(-)側から外してください。)

トラクタのバッテリーコードのナットを外しコード；1(電源コード)のターミナルを取り付けナットを締め付けます(バッテリーターミナルへ取り付けるときは(+)側から取り付けてください)

コードの極性は、白色が(+)、黒色が(-)です。

▲ 注意

- バッテリからバッテリケーブルを外すときは(-)側から外し、取り付けるときは(+)側から行なってください。
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触し火花が生じ、火災事故の原因になります。

取扱上の注意

コード；1(電源コード)をバッテリーティナルへ取り付ける時の誤作動を防ぐためスイッチボックスに取り付けずコード単体で行なってください。

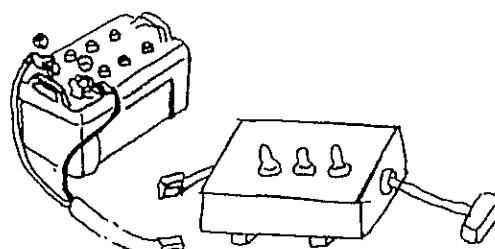
(2) スイッチボックスをトラクタの操作し易い場所にとりつけてください。

スイッチボックスの取付は、磁石で行うので、できるだけ平らな面にとりつけてください。

(3) コード；1のソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。

(4) 本体側のヘッド・シュート・クラッチ用コードのソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。

(5) 取り付け終了後は、各スイッチが表示通りの作動をするか確認してください。



5 パワージョイントの装着

本機には、専用のパワージョイントが付いていますので、他のパワージョイントで代用しないでください。

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに、取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめてから行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。

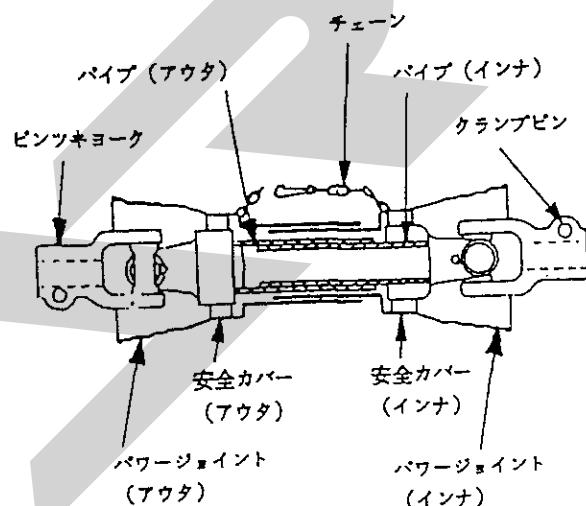
1. 長さの確認方法

- (1) パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- (2) パワージョイント（アウタ）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (3) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP.I.C軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、P.I.C軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

(5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。

(6) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP.I.C軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。

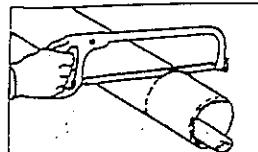
(7) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウタ）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。



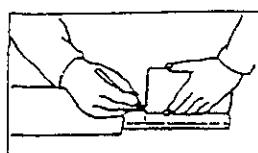
LA型 パワージョイント

2. 切断方法

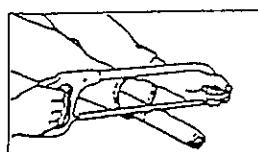
(1) 安全カバーのアウタ・インナ両方を長い分だけ切り取ります。



(2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



(3) パイプのアウタとインナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。



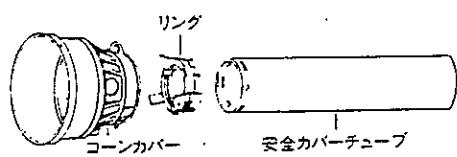
切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

(4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合せます。

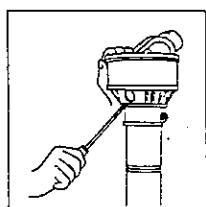
3. 安全カバーの脱着方法

a. パワージョイント : OWGB-045

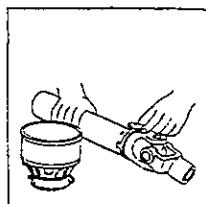
(1) 安全カバーの分解手順



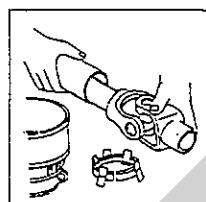
- ① ドライバーでコーンカバー3穴よりリングのツメを押して、コーンカバーを取り外してください。



- ② 安全カバーチューブよりリングを取り外してください。

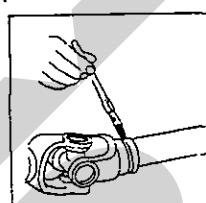


- ③ パイプより安全カバーチューブを抜き出してください。

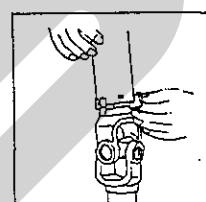


(2) 安全カバーの組立手順

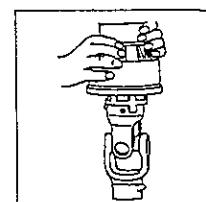
- ① リング止溝にグリースを塗ってください。



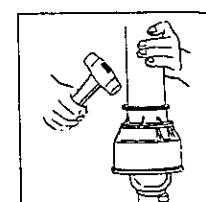
- ② リングを止溝にはめ込み、安全カバーチューブを取り付けしてください。



- ③ リングとコーンカバーのグリース穴を合わせながら、コーンカバーを取り付けしてください。



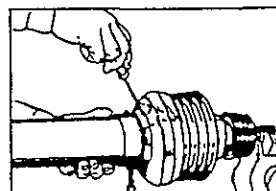
- ④ コーンカバーを軽くたたき、3つのツメがコーンカバーに確実にはまっていることを確認してください。



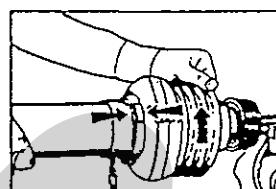
b. パワージョイント : LA-33, LA-80

(1) 安全カバーの分解手順

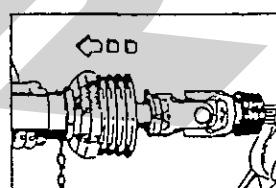
- ① 固定ネジを取り外してください。



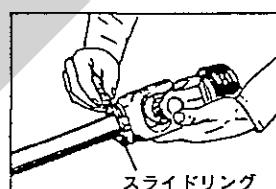
- ② 安全カバーを取り外し位置へ回してください。



- ③ 安全カバーを引き抜いてください。

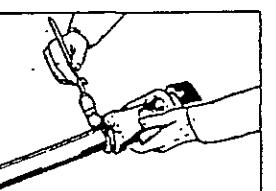


- ④ スライドリングを取り出してください。

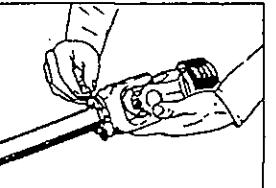


(2) 安全カバーの組立手順

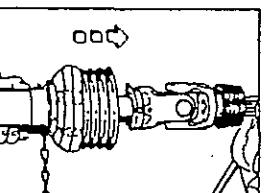
- ① ヨークのスライドリング溝とパイプ(インナ)にグリースを塗ってください。



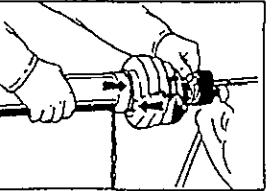
- ② スライドリングのつばをパイプ側に向け、切り口を開いて溝にはめてください。



- ③ その上に安全カバーをはめてください。



- ④ カバーをしっかり止まるまで回してください。



- ⑤ 固定ネジを締め付けてください。

4. パワージョイントの連結

サイドマウント作業時には、トラクタからの動力伝達にOSGB-045とドッキングフレームからの動力伝達のためにLA-80の2本のパワージョイントを使用します。

又、リバース作業時には、トラクタからの動力伝達のためにOSGB-045のパワージョイントとドッキングフレームからの動力伝達のためにLA-33の2本のパワージョイントを使用します。それぞれ指定品を御使用ください。

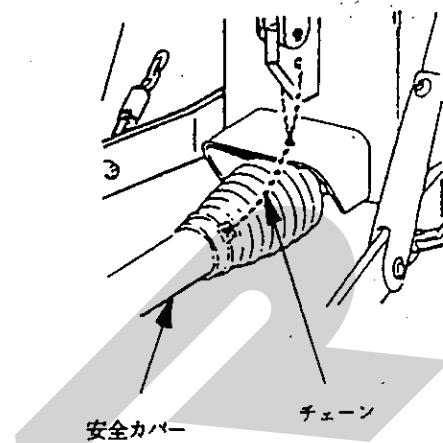
- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、それぞれの軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書にもとづき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) 三点リンクと3点フレームの連結部点検

- ① ロワーリンク・トップリンクのリンクピン・ペータピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。

(2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクラシップピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。損傷している時は、速やかに交換してください。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に従って不具合を解消してください。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-4-1 3点リンクへのドッキングフレームの連結」の説明に従って不具合を解消してください。

(3) 油圧系統の点検

- ① トラクタの外部油圧取出へのカプラの接続は確実に行なわれているか。
- ② 油圧ホースに余分なたるみはないか。
また、適度な余裕があるか。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-4-3 トラクタ油圧取出口との接続」の説明に従って不具合を解消してください。

(4) 電気系統の点検

- ① 電源コードは確実にバッテリーターミナルへ接続されているか。
- ② 電源コードとスイッチボックスのターミナルは確実に接続されているか。
- ③ スイッチボックスのターミナルと本機側のコードのターミナルは確実に接続されているか。
- ④ スイッチボックスのヒューズは切れていないか。

(5) 製品本体の点検

- 特に、下記部分はケガの原因になりますので、使用前の点検を習慣にしてください。
- ① ナイフ取り付けボルトにゆるみはないか。
 - ② ナイフホルダ取り付けボルトにゆるみはないか。
 - ③ シャバーの固定ボルトにゆるみはないか。
 - ④ 各部の給油、注油、給脂は十分か。

2 エンジン始動での点検

1. トラクタ油圧系統に異常はないか。
トラクタ油圧を操作して3点リンクを上昇し、本機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常はありません。
2. トラクタ外部油圧系統に異常はないか。
トラクタ油圧を操作し、アタッチメントを上昇させた状態で、降下がなければ異常はありません。
3. アタッチメントの昇降速度は適正か
アタッチメントの昇降速度を確認してください。
速すぎる時は、バルブのダイヤルを右に回して遅くしてください。
4. 電装品関係の動作に異常はないか
シート、ヘッド及びクラッチの動作が適正か確認してください。

取扱上の注意

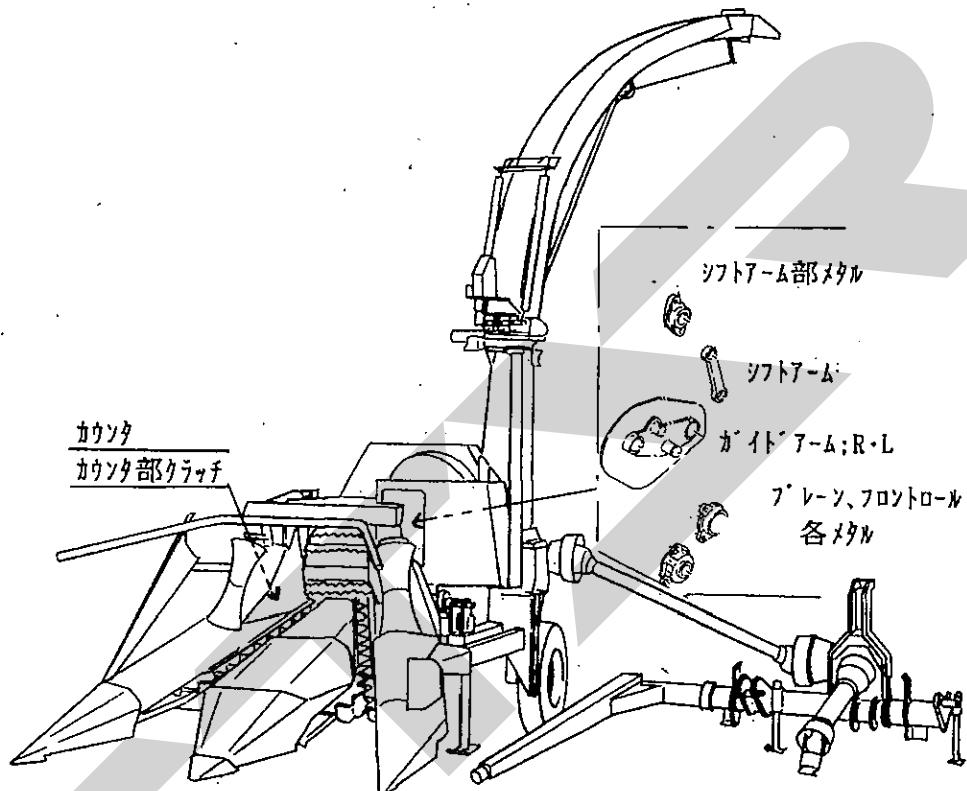
トラクタ油圧系統などに異常がある時は、
トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

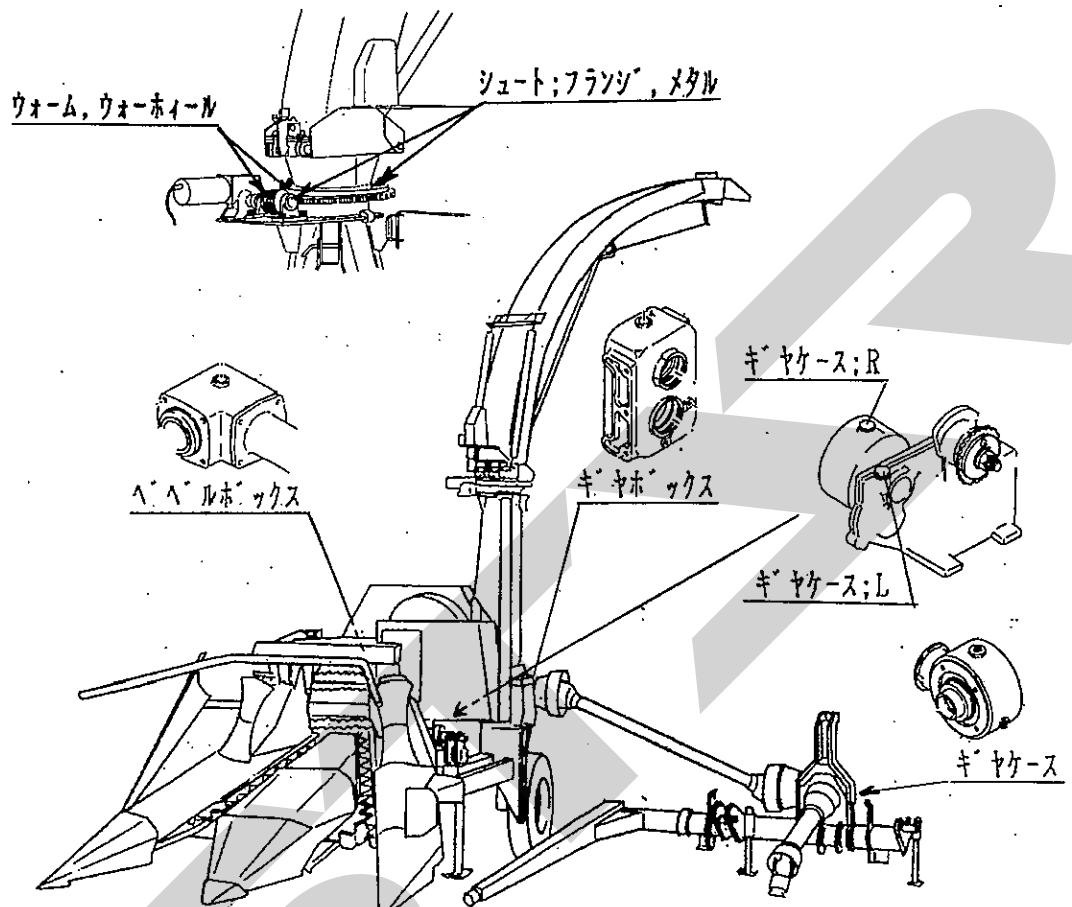
○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。

毎日の作業前にかならず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	フレーン、フロントロール 各メタル	4	グリース	使用毎	適量 "	グリースニップル
2	ガイドアーム；R・L	4	"	"	"	"
3	リフトアーム	4	"	"	"	"
4	シフトアーム部メタル	2	"	"	"	"
5	カウンタ	1	"	"	"	"
6	カウンタ部クラッチ	1	"	"	"	"



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤケース	1	ギヤオイル#90	使用当初25~30時間 その後シーズン毎に交換 始業点検時確認	レベル迄	始業点検時 確認補給
2	ベベルボックス	1	"			
3	ギヤボックス	1	"			
4	ギヤケース; R	1	"			
5	ギヤケース; L	1	"			
6	シュー; フランジ、メタル	6	グリース	使用毎	適量	グリースニップル
7	ウォーム、ウォーホイール	1	"	"	"	グリース塗布
8	ローラーチェーン	6	オイル	"	"	オイル塗布
9	コネクタ; スライド部	1	グリース	"	"	グリースニップル
10	スパイダ(ジョイント)	8	"	"	適量	"

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

本機単体では、作業はできません。
作業対象物に応じた、アタッチメントを選択して使用してください。

1. ロークロップアタッチ装着時

長穡作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取りに使用します。
これ以外の目的には使わないでください。

2. ピックアップアタッチ装着時

牧草の飼料調整に使用します。
これ以外の目的には、使わないでください。

2 作業要領

本機は、リバース作業とサイドマウント作業が出来ます。
作業の手順はA R C3500、A P U3500それぞれの取扱説明書を御覧ください。

3 各部の調整（快適な作業のために）

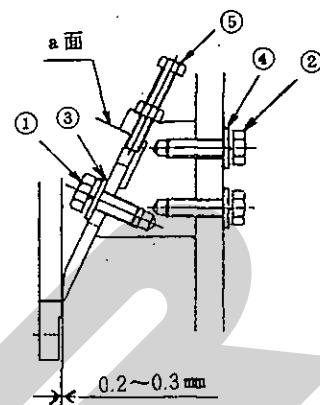
1. ナイフの調整

▲ 注意

- ナイフを調整する時不意にフライホイールが回転し取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。

- (1) ナイフとシャバーのスキマは、0.2~0.3mmです。ナイフの押しボルトでスキマを確認しながら調整してください。
- (2) ナイフ取り付けボルト①及びナイフホルダ取り付けボルト②の締付けトルクは16kg·mです。

- (3) ナイフ調整後、ボルト⑤はa面まで戻して固定してください。

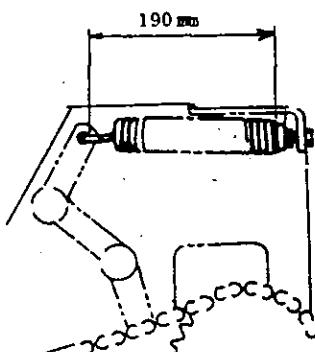


▲ 注意

- ナイフ取付ボルト及びワッシャは特殊品を使用しています。STAR純正品以外は絶対に使用しないでください。

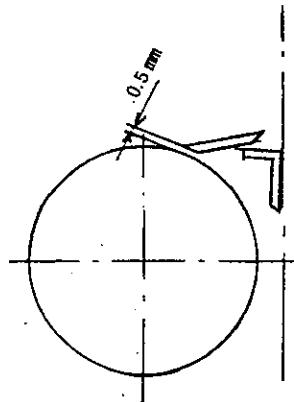
2. ロールスプリングの調整

ロールスプリングの張りは190mmになるよう調整します。



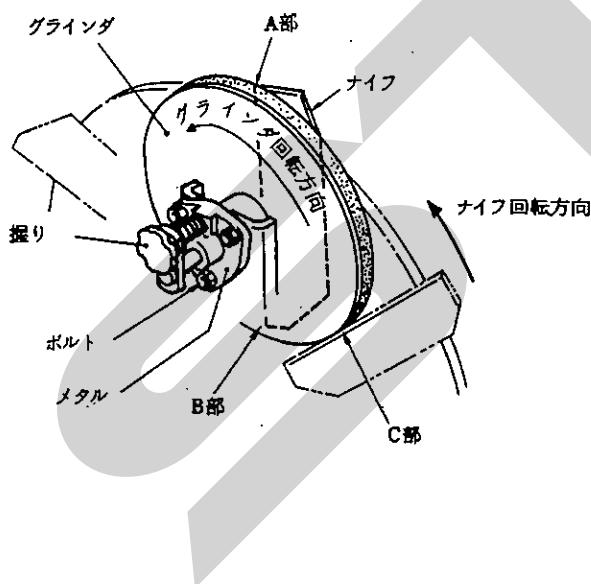
3. スクレーパの調整

プレーンロールとスクレーパのスキマは、0.5mm位に調整します。



4. 研磨装置

グラインダの面とナイフの刃合わせは図のメタルを取り付けている3ヶ所のボルトで行ないます。グラインダも垂直方向(図のA・B部)でナイフの刃がグラインダ面で当たるようになります。このとき、ナイフが回転してグラインダ面に当りはじめる図のC部でナイフとグラインダ面に0.1~0.2mmのスキマを確保してください。



5. ナイフの調整

ナイフが摩耗したままで使用すると切断長不均一、馬力アップなど性能低下の原因となります。

以下の手順で研磨してください。

▲ 警 告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲ 注 意

- ナイフを研磨する時目に飛散物が入りケガをする事があります。
保護メガネを着用してください。

〈研磨装置〉が調整の通りになっているか、確認してください。(フライホイールを手で回しグラインダが4. 研磨装置の図のように回転するか確認してください。)

- (1) トップケーシングを取り付け、グラインダカバーを開けてください。
- (2) 握りを回してグラインダをナイフに近付けて。トラクタのPTOを最低速で入れスイッチを操作しロールの回転を止めてください。
(クラッチ中立の状態です)
- (3) 握りを回してグラインダをナイフにゆっくりと近づけます。グラインダとナイフが接触するとグラインダが回り始めます。
- (4) 回りはじめたら約20△を目安に握りを回し研磨してください。
- (5) 研磨が終ったらトラクタのエンジンを停止させます。

本機の回転が完全に停止したことを確認してグラインダを戻し、グラインダカバーを閉じてグラインダでグラインダカバーを押さえてください。

6. 切断長の調整

切断長はギヤボックスの替えギヤとナイフの枚数により調整します。

(1) 替えギヤでの調整はギヤの組替えて行います。

(2) ナイフでの調整は6枚刃（標準）か、3枚刃か、2枚刃かで行ないます。

上軸	下軸	6枚刃	3枚刃	2枚刃
17T	19T	10mm	20mm	30mm
19T	17T	12mm	24mm	36mm
20T	16T	14mm	28mm	42mm

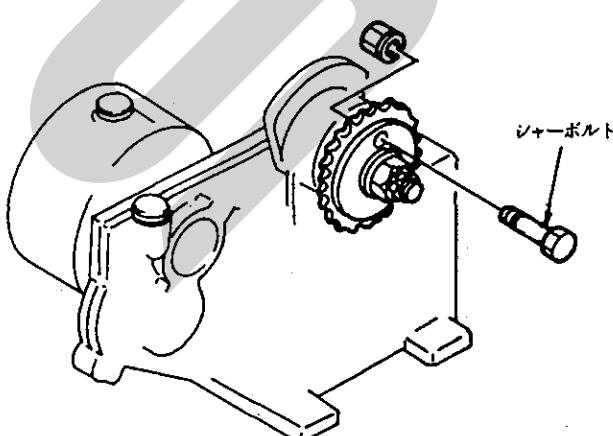


7. シャーボルト

図に示すシャーボルトは過負荷時、このボルトが切断し供給部への動力の伝達を停止し、本機の損傷を防止します。

ボルトを交換しましたらシャーボルトホルダに給脂してください。

付属品としてシャーボルト（M8×32）が3本用意してあります。予備のシャーボルトの格納場所を用意してありますので御利用ください。



取扱上の注意

このシャーボルトはSTAR純正品を使用してください。

8. タイヤの空気圧

タイヤサイズ	空 気 圧
10/80-12~6 P R	255KPa (2.6kgf/cm ²)
6.00-9-10 P R	685KPa (7.0kgf/cm ²)

9. クラッチ

ギヤケース内に内臓されたクラッチにより正転、逆転ができます。

取扱上の注意

クラッチ操作はトラクタのPTO速度を低速（250～300rpm）にして行ってください。

高速（400～540rpm）で使用するとシャーボルト及びクラッチノッチが切損する事があります。回転速度をおとしてから操作してください。

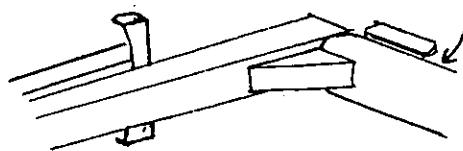
- (1) スイッチボックスの表示の正側に押し続けると正転します。～通常作業
- (2) スイッチボックスの表示の逆側に押し続けると逆転します。～ロール及びアタッチの駆動が逆転します。
- (3) ロール及びアタッチの駆動が停止した位置でスイッチを中立にすると停止状態を保持できます。

4 運搬

本機は機体幅が広い作業機です。移動する時は、トラクタ後部にけん引するか〈リバース作業〉状態で移動します。

1. 本体の取り外し

- (1) ハーベスター本体カッタ部のパワージョイントをギヤケースからはずしジョイント受に置きます。
スイッチボックスからソケットをはずしてください。
- (2) トラクタの3点リンクの油圧レバーを下げて油圧をフリーの状態にします。
- (3) コネクタパイプ後部のレバーを矢印の方向にたおすとガイドピンが抜けコネクタパイプが下へはずれます。
- (4) コネクタパイプがカウンタパイプに接触していないか確認しながら静かに前進してください。



▲ 注意

本機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時転倒してケガをする事があります。

低速走行してください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。

特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。

2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。

異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

3. PTO軸、P I C軸、ジョイントスプリン部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。

2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。

3. 給油箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。

また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、P I C軸、パワージョイントのスプリン部にはグリースを塗布してください。

4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。

5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 後 25~30 時 間	ギヤケースのオイル	オイル交換
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②ギヤケースのオイル ③部品脱落・破損部 ④各部のボルト・ナットの緩み ⑤各部油もれ ⑥各部の油脂類 ⑦ナイフとシャバーのスキマ ⑧プレーンロールとスクレーパのスキマ ⑩ナイフのスキマ ⑪ナイフ研磨 ⑫タイヤ空気圧	給油 補充、交換 増し締め シールチェック 破損時交換 給油項目に従って給油、給脂 異常があれば 調整項目に従ってチェック
シ ー ズ ン 終 了 後	①ギヤケースのオイル ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に従い処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シート・ヘッドが動かない	①バッテリとコントロールBOXの接続不良 ②ヒューズが切断 ③コントロールBOXスイッチ故障	配線をやり直す。白線(+)黒線(-)ヒューズを交換する。(15A) スイッチを交換する。
ギヤケース異常発熱	①オイル量が不足 ②ペアリング、ギヤ、シャフト損傷	適正量までオイルを注入する。 部品を交換する。
切断物の飛びが悪い	①供給物の水分が多い ②回転速度不足	供給物の水分調整をする 適正回転速度にする。
フィードロール食い込みが悪い	①供給量が多い ②ロールスプリングの張り不足	車速を落とす スプリング長さ215mmにする。
切断長さが不均一となる	①ナイフが摩耗 ②ナイフとシャバーの隙間が大きい	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。 ナイフとシャバーの隙間を再調整する
馬力を喰う	①ナイフが摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

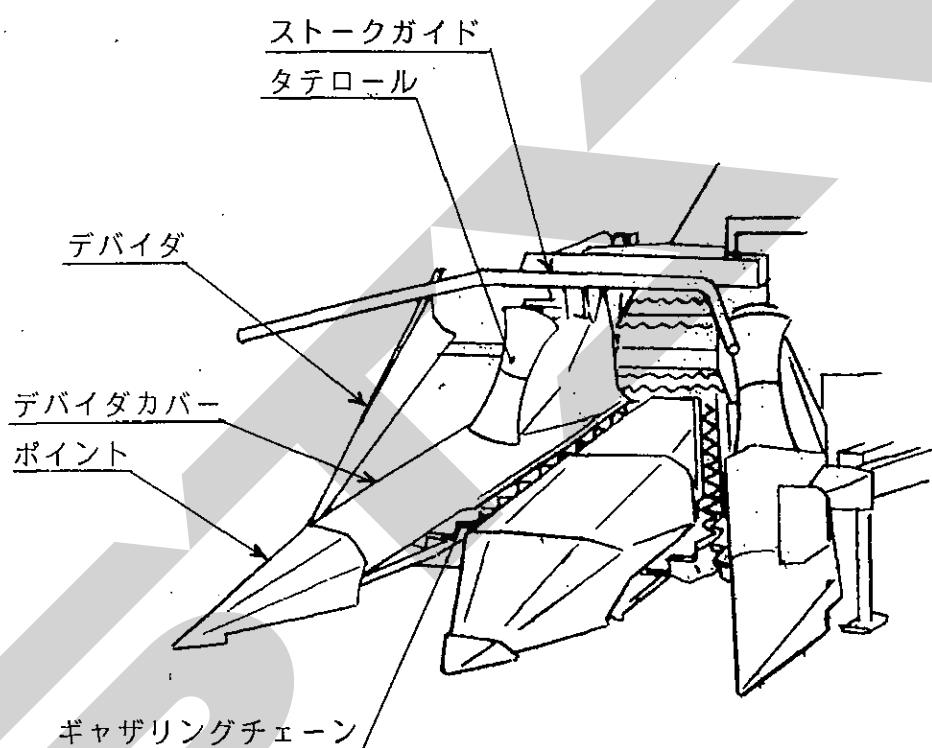
1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

II ロークロップアタッチメント

1 本体への装着

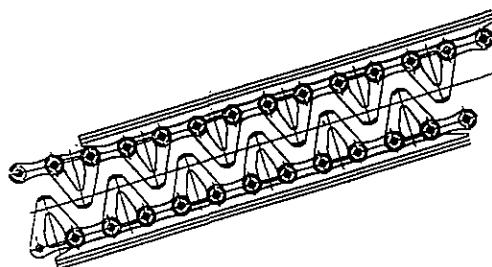
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



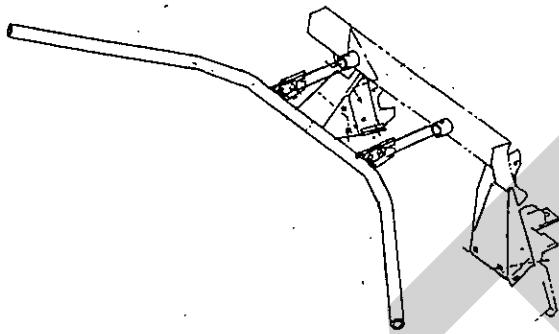
1. ギャザリングチェーン

長穀作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）を挟んで本体のフィードロールまで搬送します。



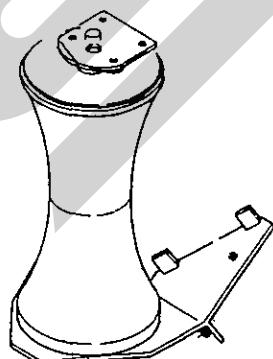
2. ストークガイド

長穀作物の茎の部分を前方へ押し作物の流れを良くする働きをします。



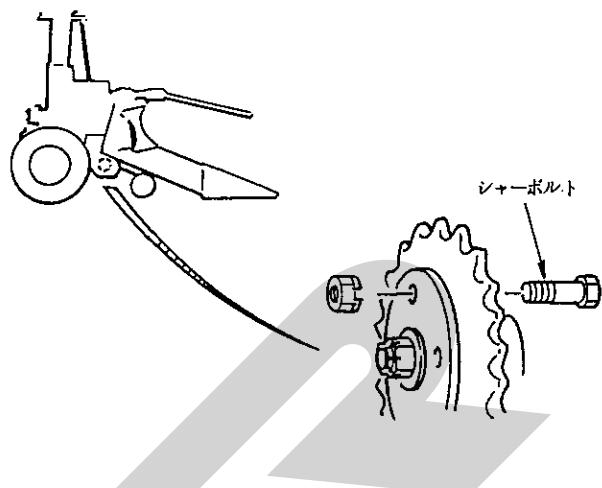
3. タテロール

倒伏した長穀作物の刈り取り時、隣の畦の作物の分離を促す働きをします。



4. シャーボルト

シャーボルトは機械に異常な負荷が掛かったとき、このボルトが切断し供給部の伝導関係が停止し、本機の損傷を防止します。



2 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

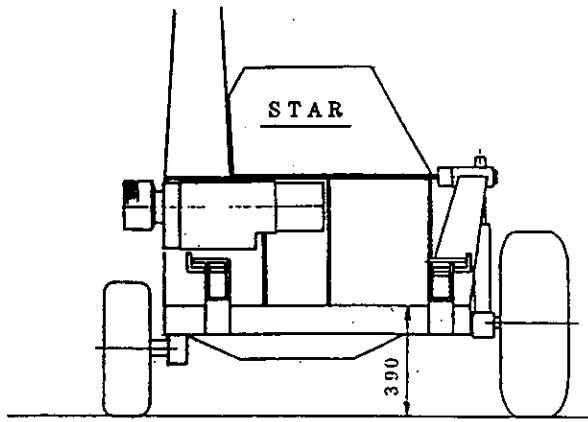
各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

3 本体への装着

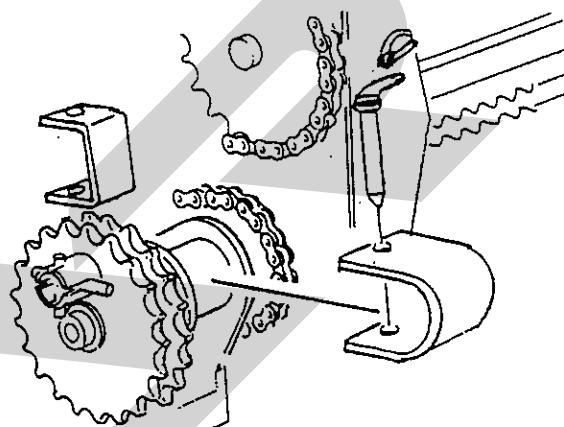
1. 本体への装着

▲ 注意

- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しきることがあります。
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。



- (1) ハーベスター本体の高さを調整してください。
(高さ調整は本体の左右タイヤで行ないます)
標準寸法は図示の通りです。
- (2) ロークロップアタッチメントの取付け部を
本体側の受けにはめ込みブラケットを入れビンを差込みデルタピンで固定します。
- (3) スプロケットにチェーンを掛け、テンションを張ります。
- (4) 最後にカバーを取付けてください
- (5) 取付完了後はホイール（鉄車輪）を取り外してください。



2 運転を始める前の点検

本体の取扱説明書を良く読み、機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. 各部の点検

- 異常な部品は無いか、給油は充分にされているか。
本体との連結は確実に行なわれているか。

2. 異常音は無いか

無負荷運転での異常音は無いか。

トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。

取扱上の注意

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、
トラクタ販売店にご相談ください。

2 エンジン始動での点検

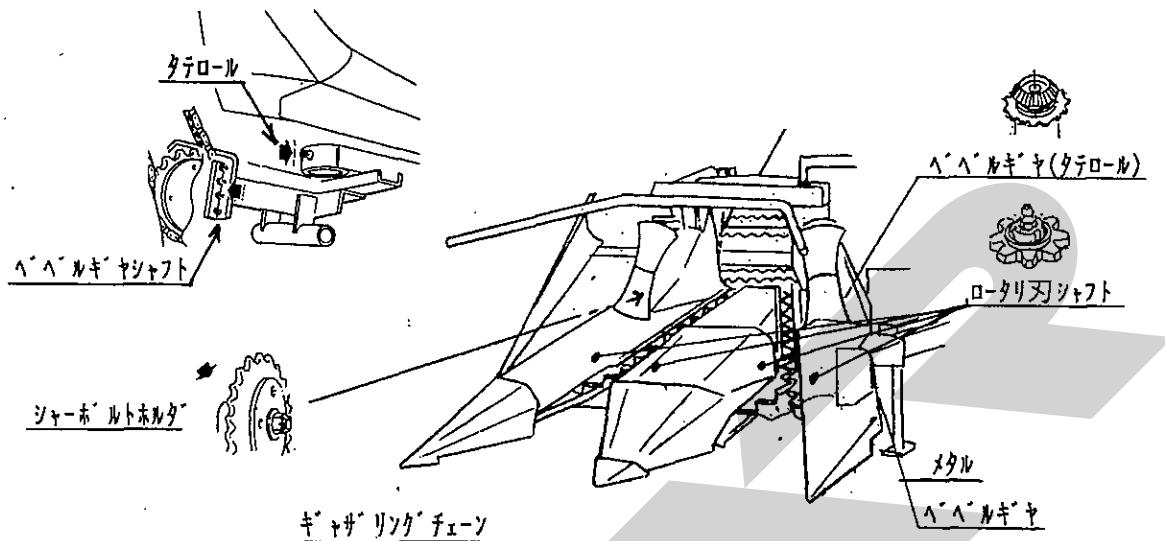
1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

- トラクタの外部油圧を操作し、本アタッチメントの上下が確実に行えるか。
持ち上げた状態を維持出来れば異常はありません。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



表のNo.1、2、3は塵芥、汁等の混入による軸受け部の寿命低下を防止するため、下記要領で入念に給油してください。

1) 本機使用前又は、使用後は必ず給油してください。

2) 給油後、ハウジング又は軸受け部とスプロケットの間からグリースが出て確實に給油されたことを、確認してください。

No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	備考
1	ベベルギヤシャフト	4	グリース	使用前又は使用後	グリースニップル
2	ロータリ刃シャフト	4	"	"	"
3	タテロール	2	"	"	"
4	ギザリングチェーン	4	オイル	使用後	オイル塗布
5	シャーボルトホールダ	1	グリース	ボルト交換ごと	グリースニップル
6	メタル	3	"	使用後	"
7	ベベルギヤ	4	"	"	グリース塗布
8	ベベルギヤ(タテロール)	2	"	"	"

*ギザリングチェーンへの給油は、使用後チェーンの暖かいうちに行ってください。

3 作業の仕方

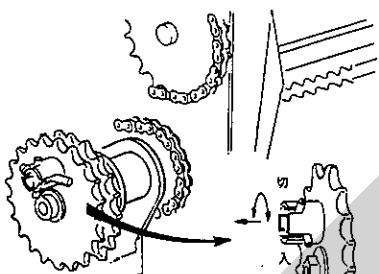
安全を確認して慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

長穀作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取りに使用します。
これ以外の目的には使わないでください。

2 作業要領

枕地や中割等で刈倒したコーン等を手で直接供給するときは図示のように、クラッチを切ってギャザリングチェーンを停止させてください。



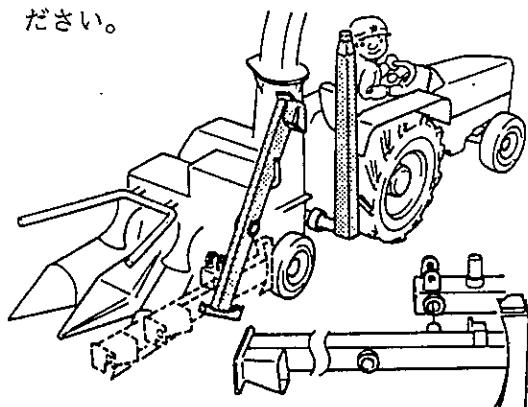
▲ 危険

- 運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。
手供給する時は、搬送チェーンの動力を遮断してから行なってください。

1. 刈り取り作業

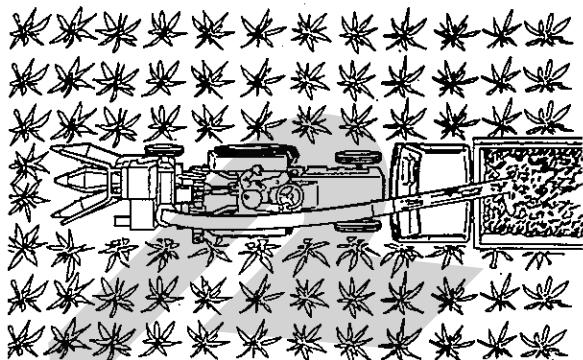
(1) 中割り、枕刈作業

- ① 図のようにカウンタパイプを差し替えて立てるか、外します。
コネクタパイプを立てて、一番引込んでトラクタのタイヤより出ないようにしてください。



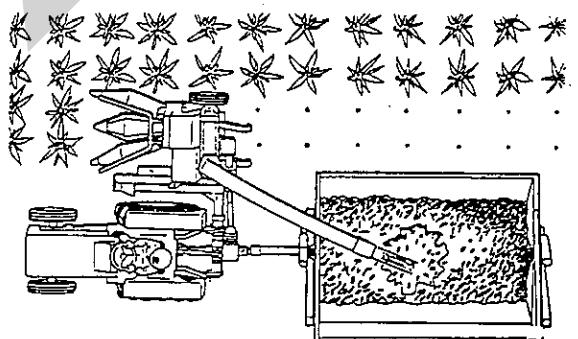
- ② 図のようにダンプトラック等で伴走して作業を行います。

当社のポンネットダンプをご利用いただきますとワンマン作業が可能となります。



(2) サイドマウント作業

中割り、枕刈作業が終わりましたらサイドマウント状態で作業を行ってください。
通常のアベック作業や、ワゴン等を牽引するワンマン作業体系でご利用いただけます。



取扱上の注意

雨後の軟弱地等、本体のタイヤが埋まる状態の時に、サイドマウント作業を行うと各部に過大な力が加わり、破損の原因となりますのでリバース状態で作業をしてください。

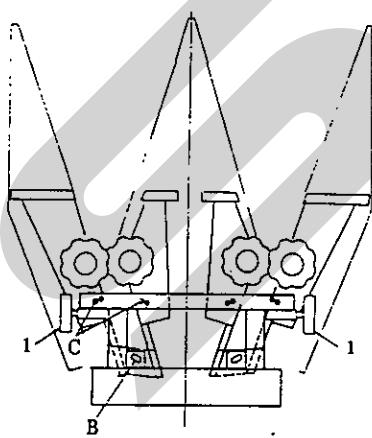
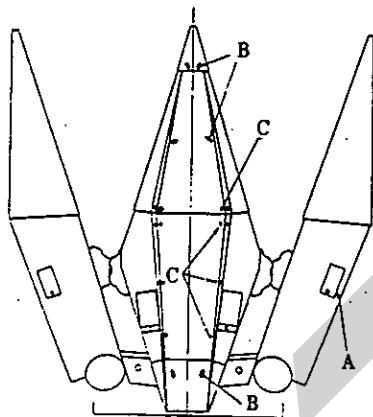
2. 条間の調整

本アタッチメントの条間は69、75cmに調整できます。出荷時は75cmにセットされています。

以下の手順で条間調整してください。

図はロークロップアタッチを上下から見たものです。

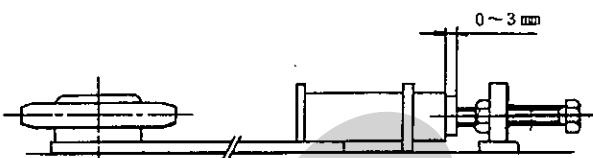
- (1) 点検カバー(A)をはずし、ギャザリングチェーンの張りをゆるめます。
- (2) 図の(B)のボルトをゆるめます。
(C)のボルトは一度はずして別の穴に付け替えます。
- (3) 条間が決まったらそれぞれのボルトを取り付けてください。
この作業は片側ずつ調整すると要領よく行えます。
- (4) 作業時(1)のホイールは取りはずして使用します。



3 各部の調整 (快適な作業のために)

1. ギャザリングチェーンの張り

ギャザリングチェーンの張りは図示の通り0～3mmになるように調整します。

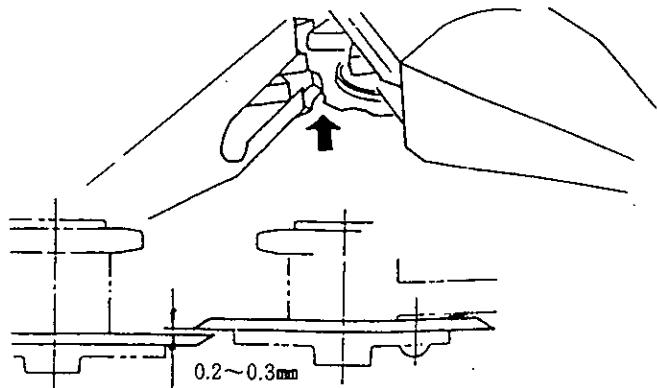


2. ナイフ (ロータリーカッター)

▲ 注意

- ナイフの隙間調整時ロークロップアタッチが不意に落下してケガをすることがあります。落下を防ぐためにフレームの下に落下防止のためブロックや枕木等を入れてください。

ナイフの隙間は0.2～0.3mmに調整します。

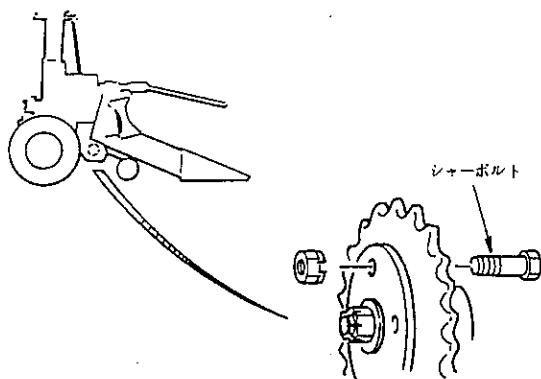


3. シャーボルト

図に示すシャーボルトは過負荷時、このボルトが切断し供給部への動力の伝達を停止し、本機の損傷を防止します。

ボルトを交換しましたらシャーボルトホルダに給脂してください。

付属品としてシャーボルト (M 6 × 30) が3本用意してあります。予備のシャーボルトの格納場所を用意してありますので御利用ください。



取扱上の注意

このシャーボルトはSTAR純正品を使用してください。

4. クラッチ

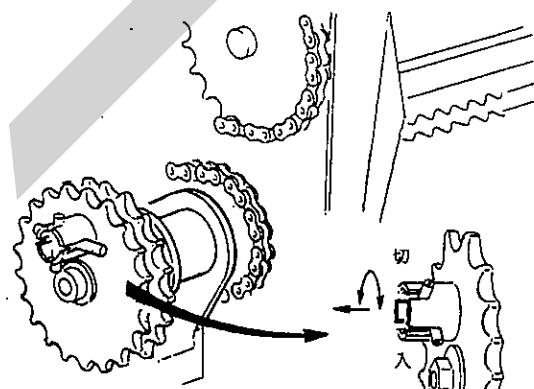
図に示すクラッチは作業要領でも触れましたが、枕刈、中割作業等でハーベスター本体のロール部へ直接投入するときのための安全装置です。クラッチを切ると、ギャザリングチェーンは停止します。

又、シャーボルトの交換時もクラッチを切って行なうと楽に作業ができます。

ギャザリングチェーンを再度動かすときは、クラッチを「入」の状態で運転を再開すると自動的にクラッチはつながります。

▲ 注意

- クラッチ部の給脂を怠ると、切った状態で運転中軸受けが焼き付き、急にギャザリングチェーンが動きだしケガをすることがあります。
クラッチ部への給脂は、新しいグリースが出てきて古いグリースと入れ替わったことを確認してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類 ⑤ギャザリングチェーンの張り ⑥ナイフのスキマ ⑦ナイフ研磨	補充、交換 増し締め 給油項目に従って給油、給脂 ——調整項目に従ってチェック
シ ー ズ ン 終 了 後	①ベベルギヤのグリース ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に従い処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ナイフ（ロータリ刃）の異常発熱	①スクレーパの接触圧が大きい ②スクレーパへの雑草の詰まり ③ナイフ取付部ボスへの雑草の巻付	スクレーパとナイフの隙間のシム調整 雑草を取り除く 雑草を取り除く
馬 力 を 嘰 う	①ナイフが摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。
ギャザリングチェーンが飛ぶ	①チェーンの張りが弱い ②ナイフ取付部ボスへの雑草の巻付 ③ナイフが摩耗	点検と調整参照 雑草を取り除く ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

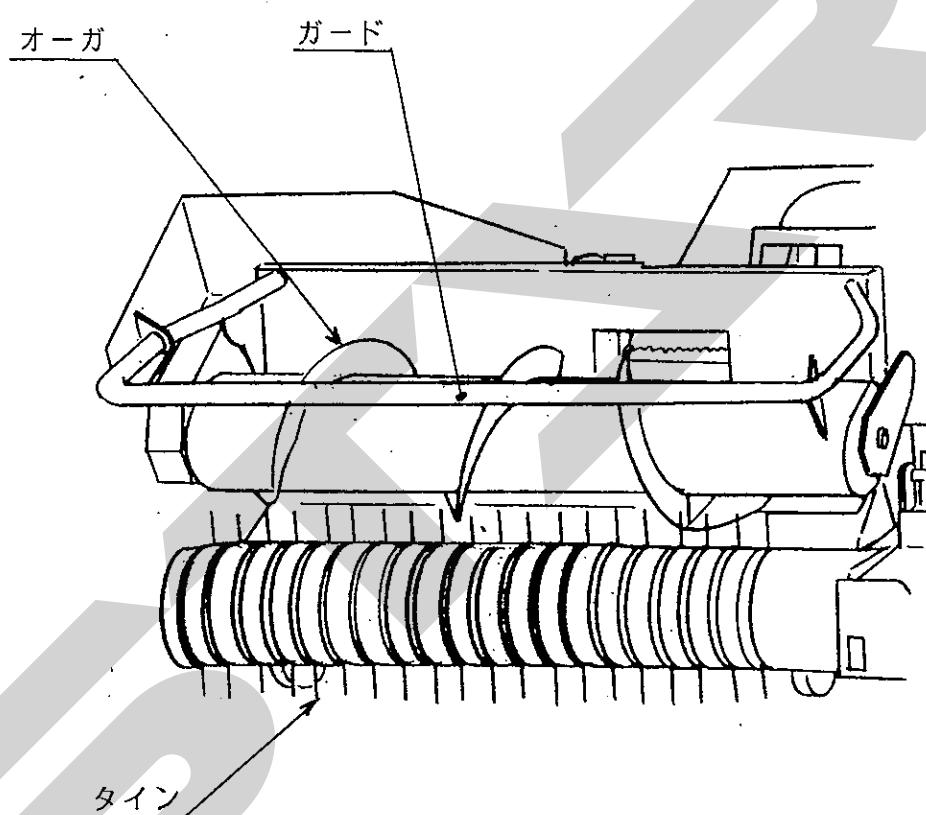
1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

III ピックアップアタッチメント

1 本体への装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



2 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

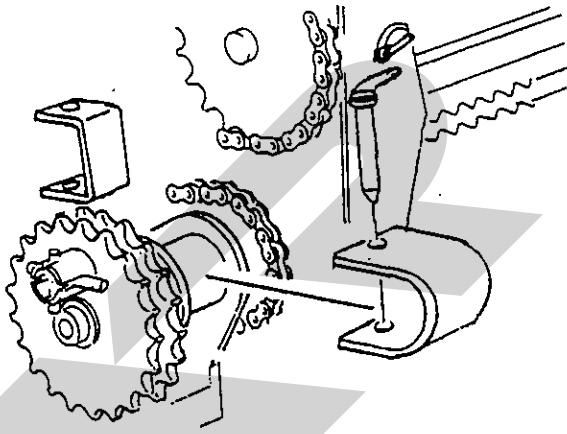
3 本体への装着

1. 本体への装着

▲ 注意

- ハーベスタ本体にアタッチメントを取り付ける時衝突させると本体がバランスを崩し後方に転倒しケガをすることがあります
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。

- (1) ハーベスタ本体の高さを調整してください。
(高さ調整は本体の左右タイヤで行ないます)
標準寸法は図示の通りです。
- (2) ピックアップアタッチメントの取付け部を本体側の受けにはめ込みブラケットを入れピンを差込みデルタピンで固定します。
- (3) スプロケットにチェーンを掛け、テンションを張ります。
- (4) 最後にカバーを取付けてください。



2 運転を始める前の点検

本体の取扱説明書を良く読み、機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

異常な部品は無いか、給油は充分にされているか。

本体との連結は確実に行なわれているか。

2 エンジン始動での点検

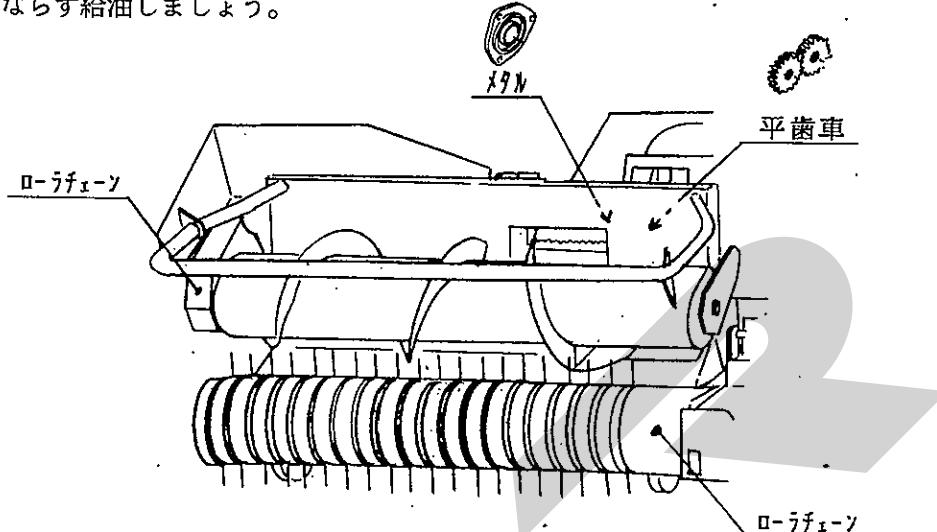
1. トラクタ油圧系統に異常はないか。
トラクタの外部油圧を操作し、本アタッチメントの上下が確実に行えるか。
持ち上げた状態を維持出来れば異常はありません。
2. 異常音は無いか
無負荷運転での異常音は無いか。
トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。

取扱上の注意

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、
トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。毎日の作業前にかならず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	平歯車	1	グリース	使用ごと	適量	グリース塗布
2	ローラーチェーン	3	オイル	"	"	オイル塗布
3	メタル	6	グリース	"	"	グリースニップル

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

牧草の飼料調整に使用します。これ以外の目的には使わないでください

▲危険

- 運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。
ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、P T Oおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

2 作業要領

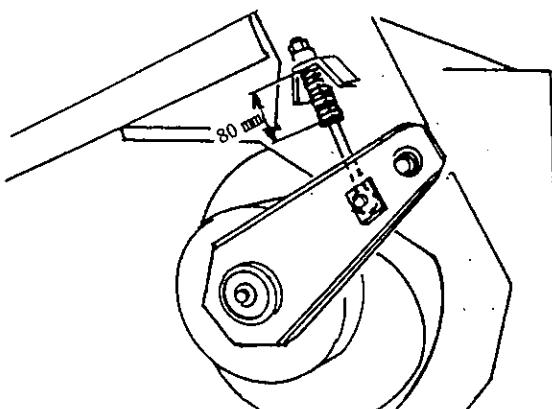
効率の良い作業を行なうためにウィンドロー(集草列)は、均一で少な目に作ってください。ウィンドロー幅は60~80cm程が目安です。

また本機がほ場内をスムーズに作業できるような作業効率のよいウィンドローの作り方を工夫しましょう。

3 各部の調整（快適な作業のために）

1. オーガスプリングの調整

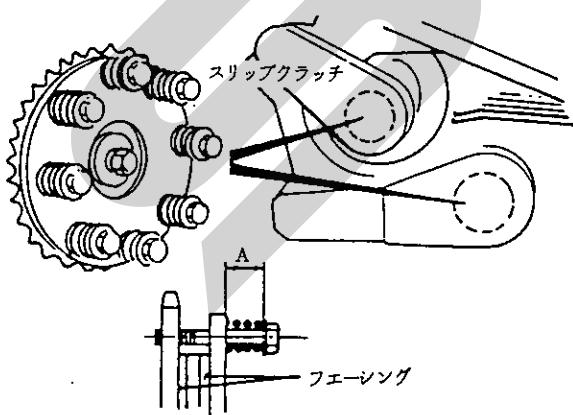
オーガをピックアップされた牧草に押しつけて、横送りを助ける働きをします。スプリングの標準長さは80mmです。



2. スリップクラッチの調整

オーガ部及びピックアップ部には、過負荷時の安全装置としてスリップクラッチが装備されています。

スプリングの標準長さは、A寸法でピックアップ部は27mm、オーガ部はボルトを締めて密着してから半回転戻してください。



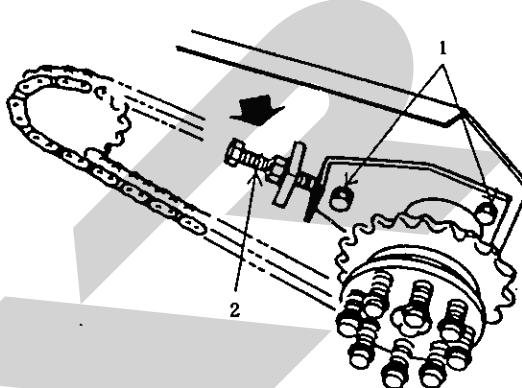
スリップクラッチ部には、ワンウェイクラッチが装備されており、ロール、オーガ部を逆転させた時、タインによるロータフラッシュの突き上げや、草の引き込みなどのトラブルを、未然に防止します。

取扱上の注意

フェーシング部分には給油しないでください。スリップして作業ができなくなります。

3. オーガテンションの調整

オーガ軸受のボルト①をゆるめ押しボルト②で調整します。テンション量がいっぱいになつた時は元の位置に戻し、チェーンのオフセットリンク（半コマ）を一個外してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 純正箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使 用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類 ⑤オーガスプリング ⑥スリップクラッチ ⑦オーガテンション	補充、交換 増し締め 給油項目に従って給油、給脂 ——異常あれば再調整
シ ー ズ ン 終 了 後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油、給脂 ④チェーン、回動支点等の摩耗 ⑤塗装損傷部	早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に従い処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ピックアップがスリップして牧草が拾えない	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガがスリップする	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガに巻き付く	①オーガとスクレーパの隙間が多い	隙間を調整する

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（　　〃　　）
- ⑤ 個数（　　〃　　）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	<input checked="" type="checkbox"/> 付
2	ONAS6G	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により、部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例）BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の・は、以下のことを表しております。

…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

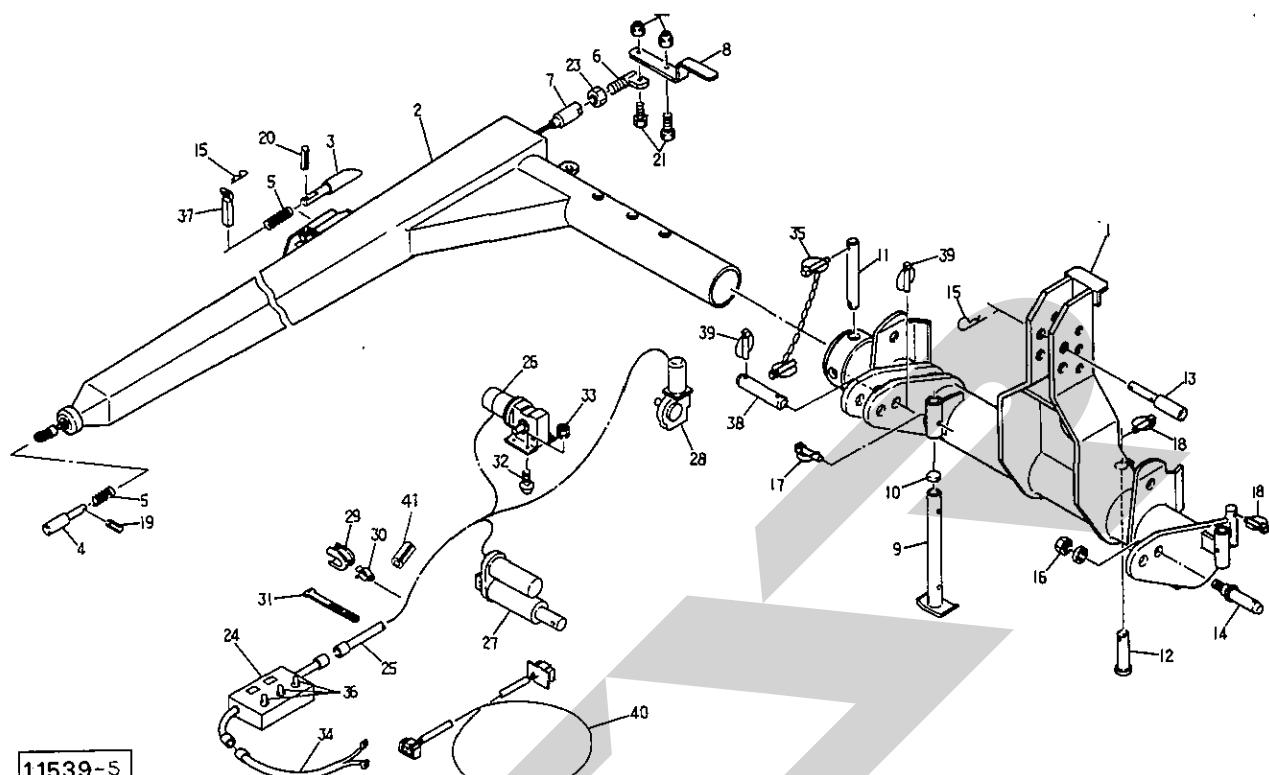
…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

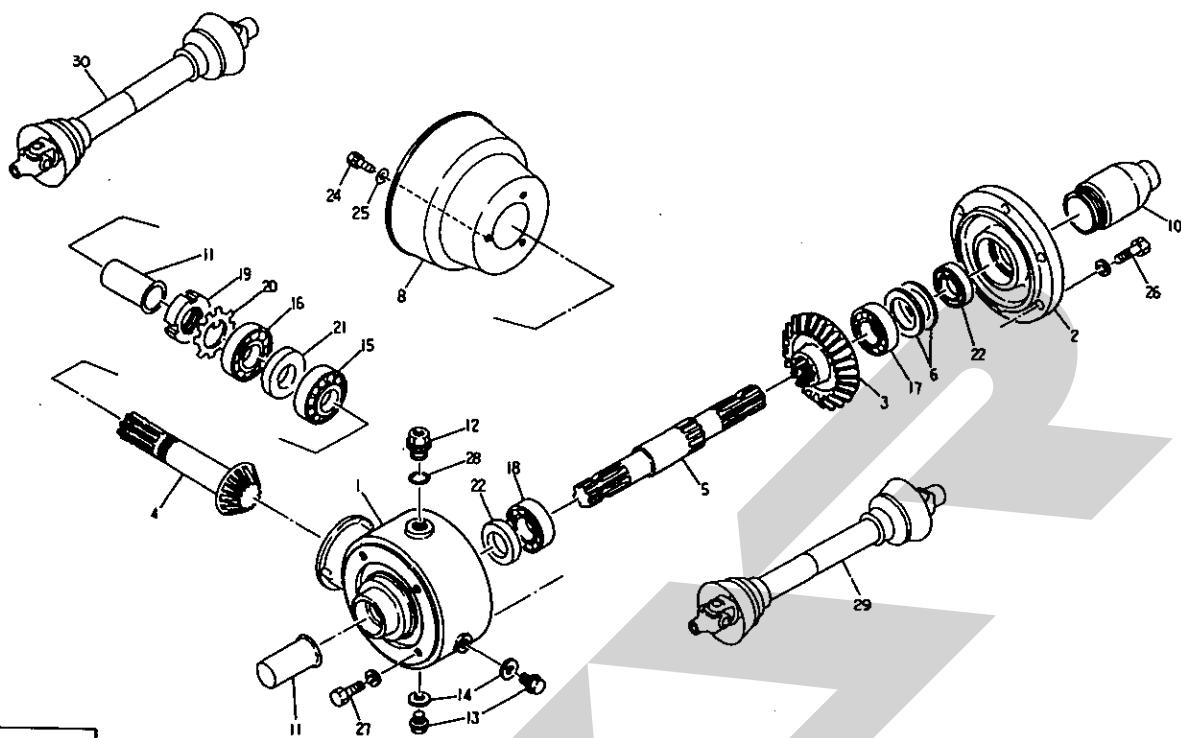
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ヒッチ・デンソウ



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	81418	ヒッチ	1	26	94325	TMウォームゲンソクキ	1
2	81378	コネクターパイプ	1	27	81442	デンドウシリンダ	1
3	57960	ロックピン	1	28	70351	パワーウィンドモータ	1
4	59672	ガイドピン	1	29	EZA1S	バイラック；1S型	1
5	57897	スプリング	2	30	EZB15C	バイラッククリップ；15-C	2
6	67925	ホルダー	1	31	ILT50R	インシュロック；T50R	1
7	81083	ワイヤー	1	32	CP0620G	ナベコネジ；M6×20	4
8	74611	レバー	1	33	NP06G	スプリングナット；M6	4
9	00701	スタンド；250	2	34	82879	コード；1	1
10	00458	キャップ；29	2	35	84348	チェーン	1
11	81417	ピン	1	36	84072	スイッチ；S-338	3
12	82173	ピン	1	37	89930	ピン	1
13	00098	トップリンクピン；I、II	1	38	70638	ピン	1
14	00011	ロワーリンクピン <small>(①16付)</small>	1	39	PR12G	リンチピン；12	2
15	00088	ベータピン；19×3	2	40	87457	アダプタコード <small>オプション</small>	1
16	NZ24150WG	ナット；M24×1.5	1	41	71685	パイプ	1
17	00453	デルタピン；9	2				
18	00739	リンチピン；9	2				
19	PS6018	スプリングピン；6×18	1				
20	PS6032	スプリングピン；6×32	1				
21	BZ1030G	ボルト；M10×30(8.8)	2				
22	NN10G	ナイロンナット；M10	2				
23	NZ12G	ナット；M12(8)	1				
24	82878	スイッチボックス	1				
25	82880	コード；2	1				

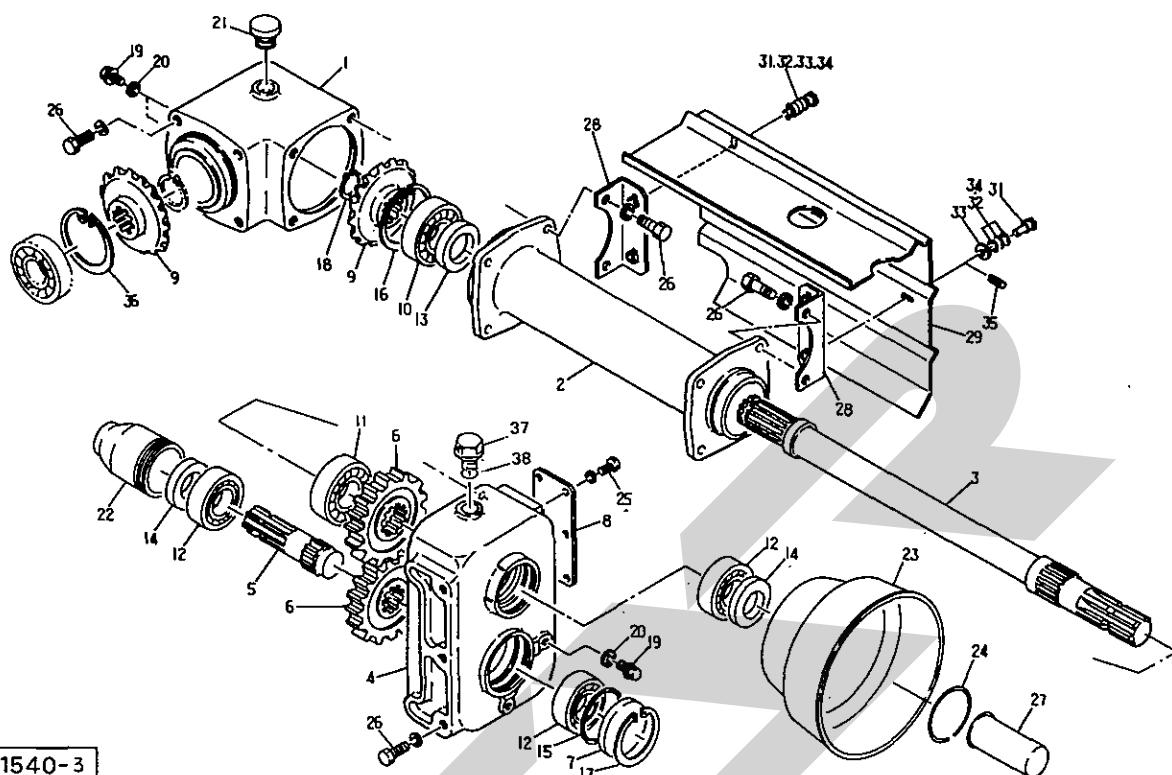
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター ギヤボックス



11538 - 2

品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	92936	ギヤケース	1	26	BZ1030WG	ボルト; M10×30(8.8)	6
2	81377	サイドキャップ	1	27	BZ1240WG	ボルト; M12×40(8.8)	4
3	82466	ペベルギヤ; 27T	1	28	ORP20	Oリング; P20	1
4	82467	ペベルピニオン; 16T	1	Asy	82562Asy	ギヤケース(クミ) ④1~28付	1
5	81089	シャフト	1	29	102498	パワージョイント; OSGB-045	1
6	82882	シム	—	30	00634	パワージョイント; LA-80	1
8	00827	PICカバー; I	1				
10	34616	ガード	1				
11	96089	Picキャップ; 35	2				
12	59133	チェックプラグ; PF 1/2	1				
13	00338	プラグ; M10	2				
14	00339	パッキン(M10プラグ用)	2				
15	J30208	テーパーベアリング; 30208	1				
16	J6208LLU	ベアリング; 6208LLU	1				
17	J6208	ベアリング; 6208	1				
18	J6207	ベアリング; 6207	1				
19	NJAN08	ベアリングナット; AN08	1				
20	WAW08	ベアリングワッシャ; AW08	1				
21	D40721	オイルシール; D407210	1				
22	D35558	オイルシール; D35558	2				
24	BP0816G	スプリングボルト; M8×16	3				
25	44097	ワッシャ; 8	3				

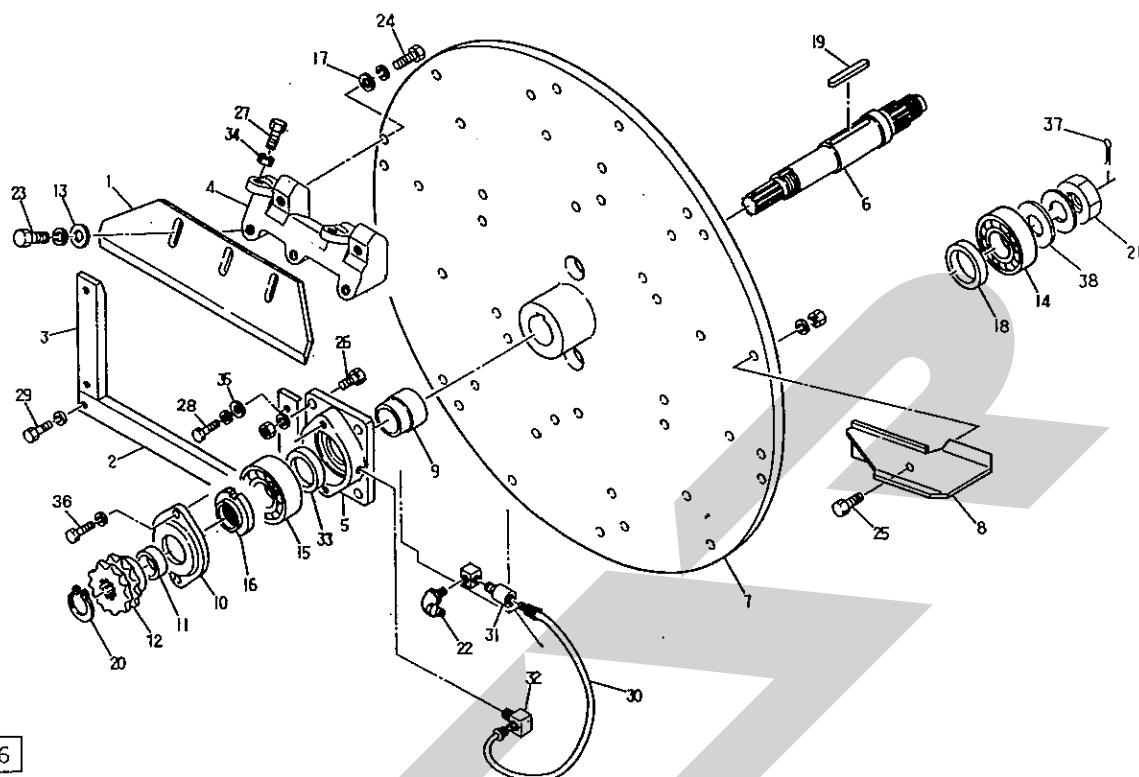
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター ベベルボックス



11540-3

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	84338	ベベルボックス	1	26	BZ1230WG	ボルト; M12×30(8.8)	15
2	84339	フランジ	1	27	00096	Picキャップ; 35	1
3	92898	シャフト	1	28	82793	ブラケット	2
4	92899	ギヤボックス	1	29	82794	カバー; 1	1
5	81320	シャフト	1				
6	81321	ギヤ; M5.5×20T	2	31	79658	ニギリ; 40	2
7	81322	キャップ	1	32	58306	シム	2
8	82477	プレート	1	33	44097	ワッシャ	2
9	84341	ベベルギヤ; M5.5×20T	2	34	79659	サラバネ	6
10	J6208	ペアリング; 6208	1	35	PS4016	スプリングピン; 4×16	2
11	J6208LU	ペアリング; 6208LU	1	36	DHC90	スナップリング; H90	1
12	J6207	ペアリング; 6207	3	37	59133	チェックプラグ; PF 1/2	1
13	D45629	オイルシール; D45629	1	38	ORP20	Oリング; P20	1
14	D356210	オイルシール; D356210	2				
15	ORG75	Oリング; G75	1				
16	DHC80	スナップリング; H80	1				
17	DHC75	スナップリング; H75	1				
18	DC40	スナップリング; S40	1				
19	00338	プラグ; M10	4				
20	00339	パッキン(M10プラグ用)	4				
21	00717	チューユセン; 23	1				
22	34616	ガード	1				
23	00824	PICカバー; II	1				
24	00825	リング; S	1				
25	BZ0816WG	ボルト; M8×16(8.8)	6				

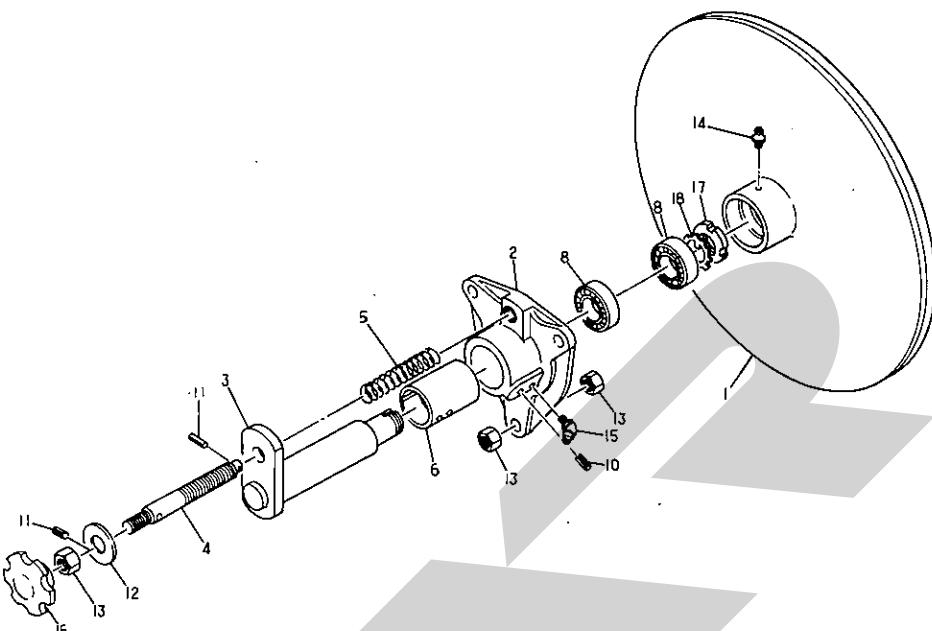
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター フライホイール



11541-6

品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	100107	ナイフ	6	26	BZ 1235 AG	ボルト；M12×35(8.8)	4
2	81314	シャバー；A	1	27	BCI110045	ボルト；M10×45全ネジ(ステンレス)	18
3	81315	シャバー；B	1	28	BZ 1025WG	ボルト；M10×25(8.8)	1
4	100133	ナイフホルダ	6	29	BZ 1020WG	ボルト；M10×20(8.8)	4
5	90275	ハウジング	1	30	82571	キュウユホース；250	1
6	100242	シャフト；フライホイール	1	31	K869932	S Fツギテ；1/8	1
7	81301	フライホイール	1	32	K 864206	L Fツギテ；M6	1
8	81302	ブレード	3	33	D 45629	オイルシール；D 45629	1
9	93020	カラー	1	34	NZ 10 G	ナット；M10(8)	12
10	90278	キャップ	1	35	44098	ワッシャ；10	1
11	90279	カラー	1	36	BZ 1030WG	ボルト；M10×30(8.8)	2
12	81311	スプロケット；50×14T	1	37	PC 5036G	ワリピン；5×36	1
13	100139	ハイテンワッシャ	18	38	31301	ワッシャ	1
14	J 6308	ボールベアリング；6308	1				
15	J 6307	ボールベアリング；6307	1				
16	85537	ロックナット；M35×1.5	1				
17	81029	ハイテンワッシャ；14	30				
18	D 50729	オイルシール；D 50729	1				
19	KFC10081000	キー；10×8×100(両丸)	1				
20	DC 30	スナップリング；S 30	1				
21	NAC30200WG	ナット；M30×2(3種)	1				
22	ONBS 1	グリースニップル；B-PT 1/8	1				
23	BZT1440WG	ボルト；M14×40(10.9)	18				
24	BZT1450WG	ボルト；M14×50(10.9)	30				
25	BZ 1245 AG	ボルト；M12×45(8.8)	6				

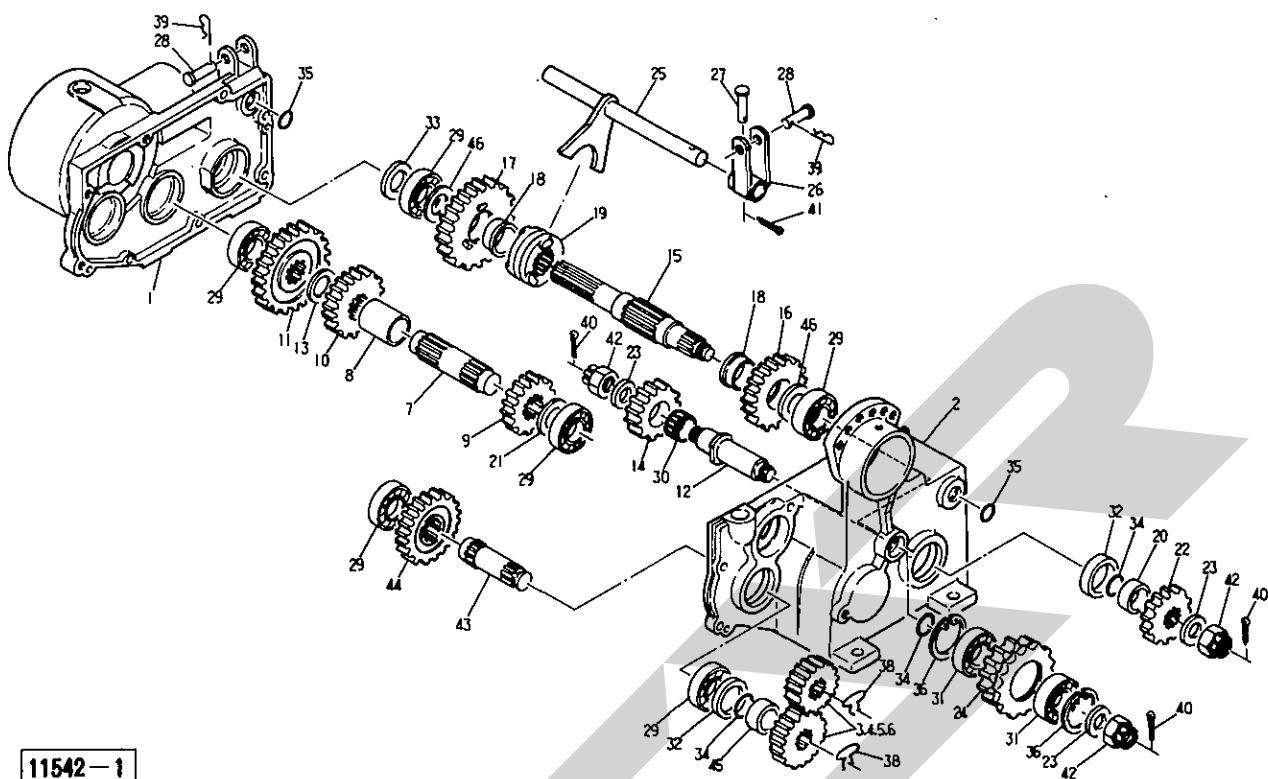
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスタ グラインダ



11546-2

見出号	部品番号	部品名 称	個数	見出号	部品番号	部品名 称	個数
1	81348	グラインダ	1				
2	81350	メタル	1				
3	82656	シャフト	1				
4	81352	ピン	1				
5	81353	スプリング	1				
6	81354	ブッシュ	1				
8	J 6005Z	ペアリング； 6005Z	2				
10	PS 5016	スプリングピン； 5×16	1				
11	PS 5025	スプリングピン； 5×25	2				
12	WRA16G	ワッシャ； M16	1				
13	NZ12G	ナット； M12(8)	7				
14	ONAS6G	グリースニップル； A-M6×1F	1				
15	ONBS6G	グリースニップル； B-M6×1F	1				
16	00691	ニギリ； M12	1				
17	NJAN05	ペアリングナット； AN05	1				
18	WAW05	ペアリングワッシャ； AW05	1				

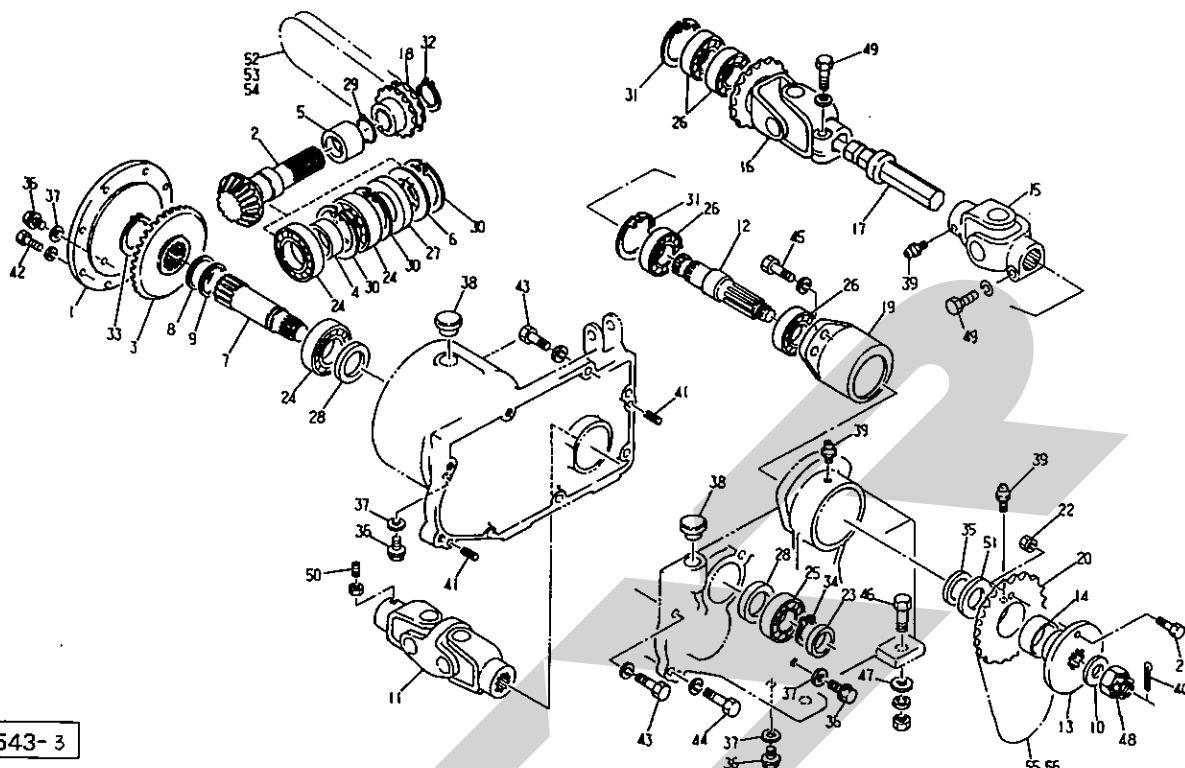
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ギヤケース [I]



11542-1

番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	82679	ギヤケース；R	1	26	82655	シフトアーム	1
2	82680	ギヤケース；L	1	27	00056	アタマツキピン；10×40	1
3	70207	ギヤ；19T 替ギヤ	1	28	00066	アタマツキピン；12×55	2
4	70206	ギヤ；20T 替ギヤ	1	29	J6206	ペアリング；6206	6
5	70209	ギヤ；16T 替ギヤ	1	30	JK303520	ニードルペアリング；K303520	1
6	70208	ギヤ；17T 替ギヤ	1	31	J6206LLU	ペアリング；6206LLU	2
7	81429	シャフト	1	32	D40558	オイルシール；D40558	2
8	81430	カラー	1	33	D30507	オイルシール；D30507	1
9	81431	ギヤ；15T	1	34	ORG30	Oリング；G30	3
10	82575	ギヤ；18T	1	35	ORP20	Oリング；P20	2
11	81432	ギヤ；24T	1	36	DHC62	スナップリング；H62	2
12	87223	シャフト；アイドラー	1				
13	81434	ワッシャ	1	38	56984	クリップ；17×3	2
14	81435	ギヤ；14T	1	39	00085	ベータピン；8×1.6	2
15	82577	シャフト	1	40	PC4040G	ワリピン；4×40	3
16	81437	ギヤ；19T	1	41	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1
17	81438	ギヤ；24T	1	42	NC2L20150G	キャッスルナット；M20×1.5(2種低形)	3
18	70643	ブッシュ	2	43	81427	シャフト	1
19	81439	クラッチ	1	44	81428	ギヤ；19T	1
20	61070	スペーサ；30×13.8	1	45	81424	カラー	1
21	59312	カラー	1	46	JWS81106	ニードルスラストペアリング用内輪；WS81106	2
22	82579	ギヤ；15T	1				
23	75318	ザガネ	3				
24	82580	ギヤスプロケット	1				
25	81441	シフタ	1				

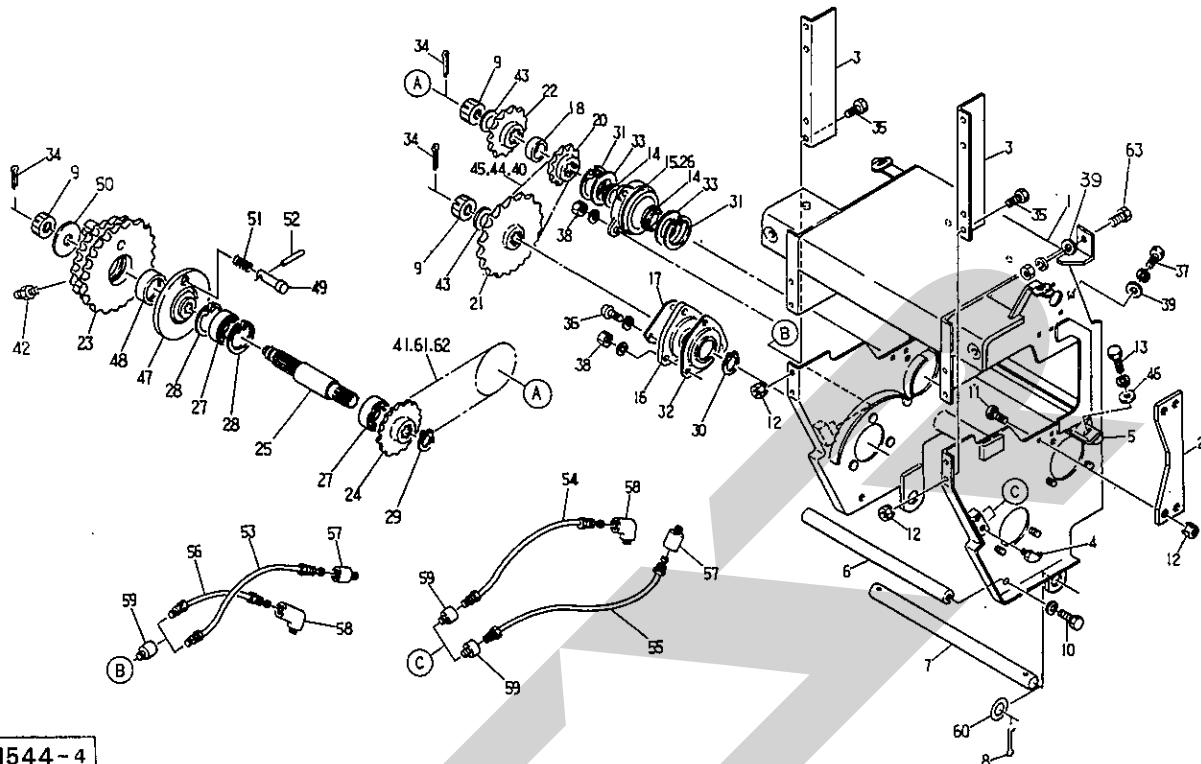
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ギヤケース [II]



11543-3

番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	81421	プレート	1	26	J 6206LLU	ペアリング; 6206LLU	4
2	81422	ベベルピニオン	1	27	D407210	オイルシール; D407210	1
3	74220	ベベルギヤ	1	28	D35558	オイルシール; D35558	2
4	81423	カラー	1	29	ORG30	Oリング; G30	1
5	81424	カラー	1	30	DHC72	スナップリング; H72	3
6	81425	ワッシャ	1	31	DHC62	スナップリング; H62	2
7	81426	シャフト	1	32	DC30	スナップリング; S30	1
8	44585	調整シム; 3.5×0.1	2	33	DC40	スナップリング; S40	1
9	44586	調整シム; 3.5×0.2	2	34	DC35	スナップリング; S35	1
10	75318	ザガネ	1	35	82662	カラー	1
11	81444	ジョイント	1	36	00338	プラグ; M10	4
12	82581	シャフト	1	37	00339	パッキン(M10プラグ用)	4
13	81175	シャーポルトホルダ	1	38	00717	チューユセン; 23	2
14	81177	ブッシュ	1	39	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	3
15	66954	ジョイント; 2	1	40	PC4040G	ワリピン; 4×40	1
16	83159	ジョイント	1	41	PS8020	スプリングピン; 8×20	2
17	82738	シャフト	1	42	BZ0820WG	ボルト; M8×20(8.8)	8
18	81311	スプロケット; 50×14T	1	43	BZ1040WG	ボルト; M10×40(8.8)	7
19	82583	メタル; カウンタ	1	44	BZ1050WG	ボルト; M10×50(8.8)	1
20	81176	スプロケット; 25T	1	45	BZ1225WG	ボルト; M12×25(8.8)	1
21	44691	シャーポルト; M8×32	予備3ヶ	46	BZ1245AG	ボルト; M12×45(8.8)	4
22	NP08G	スプリングナット; M8	予備3ヶ	47	67931	ワッシャ; 12	4
23	80916	カラー	1	48	NC2L20150G	キャッスルナット; M20×1.5(2種低形)	1
24	J6207	ペアリング; 6207	3	49	BZ1245WG	ボルト; M12×45(8.8)	2
25	J6007LLU	ペアリング; 6007LLU	1	50	MC1020N	ロッカクアナトメネジ; M10×20	1

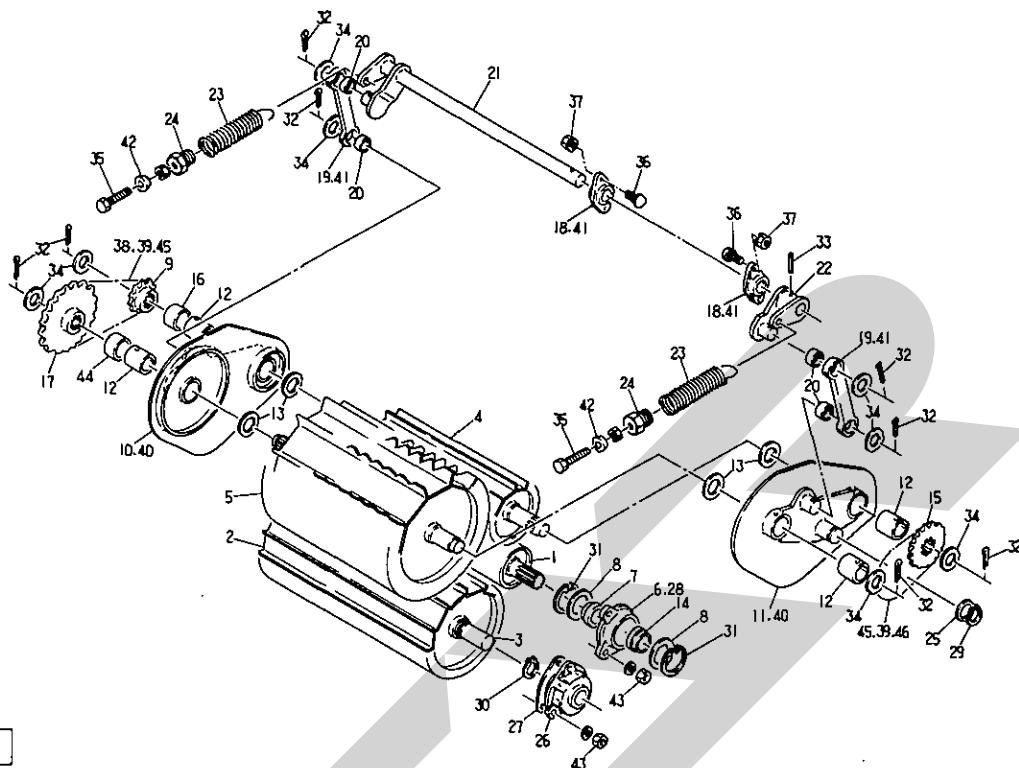
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ロール [I]



11544-4

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
2	81510	プレート	2	26	JCS206LLU	ユニットベアリング；CS206LLU	1
3	81511	アングル	2	27	J6205Z	ベアリング；6205Z	2
4	ONBS 1	グリースニップル；B-PT 1/8	4	28	DHC52	スナップリング；H52	2
5	81410	スクレーパ	1	29	DC25	スナップリング；S25	1
6	81411	シャフト	1	30	DC35	スナップリング；S35	1
7	81412	シャフト	1	31	DHC62	スナップリング；H62	2
8	PC5036G	ワリピン；5×36	2	32	56426	メタルカバー	1
9	NC2L20150G	キャッスルナット；M20×1.5(2種低形)	3	33	81115	プレート	2
10	BZ1220WG	ボルト；M12×20(8.8)	2	34	PC4040G	ワリピン；4×40	3
11	BRZ0820G	カクネボルト；M8×20(8.8)	8	35	BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	8
12	NP08G	スプリングナット；M8	16	36	CP0612WG	ナベコネジ；M6×12	3
13	BZ0820WG	ボルト；M8×20(8.8)	2	37	BZ1030WG	ボルト；M10×30(8.8)	3
14	81117	カラー	2	38	NZ10WG	ナット；M10(8)	6
15	81106	メタル	1	39	44098	ワッシャ；10	4
16	00730	メタル；30	1	40	LD5041	ローラーチェーン；50×41 ④44,45付	1
17	81114	プレート	1	41	LD6037	ローラーチェーン；60×37 ④61,62付	1
18	81310	カラー	1	42	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	1
19	61938	カラー	1	43	75318	ザガネ	2
20	81109	スプロケット；13T	1	44	AA50	ツギテ；50	1
21	81110	スプロケット；30T	1	45	AD50	1ピッチオフセット；50	1
22	70282	スプロケット；15T	1	46	44097	ワッシャ；8	2
23	100264	スプロケット	1	47	100265	クラッチホルダ	1
24	82569	スプロケット；15T	1	48	100266	ブッシュ	1
25	100267	シャフト；カウンタ	1	49	81459	ロックピン	1
				50	81381	プレート	1

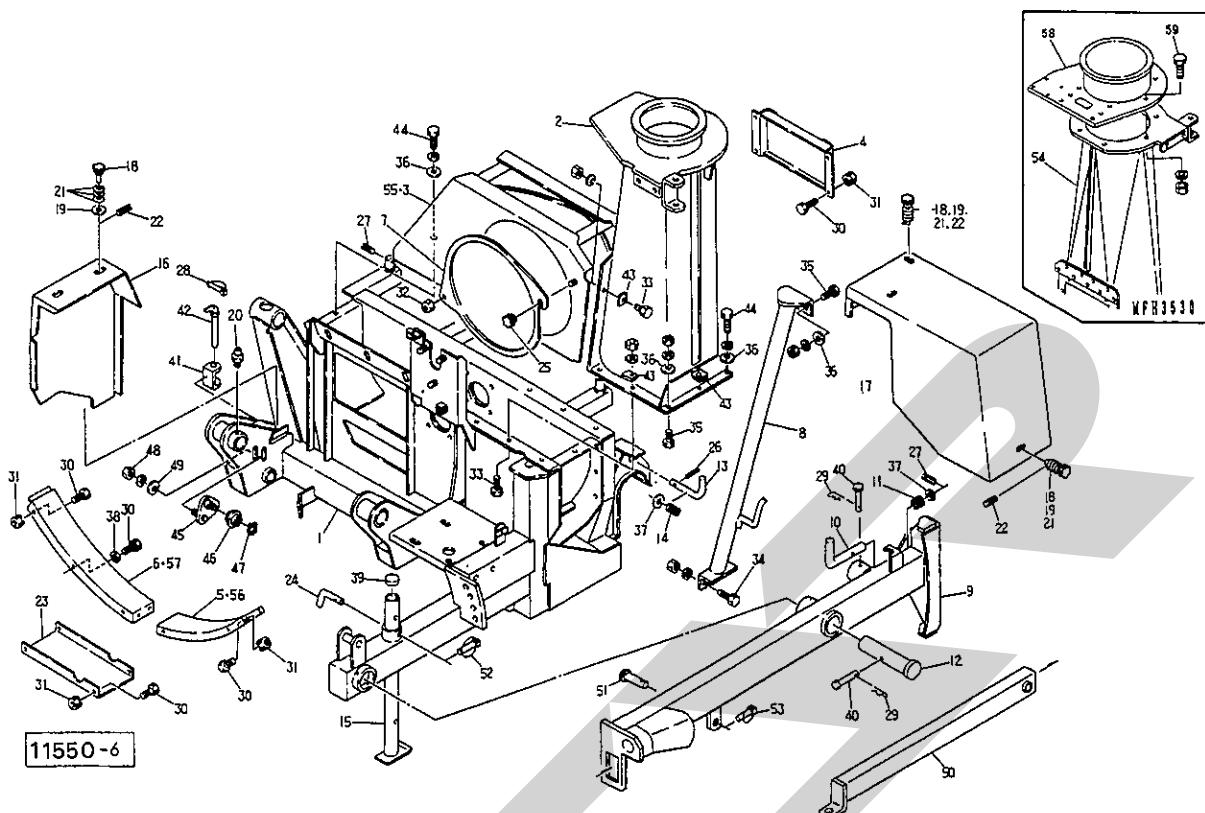
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ロール (II)



11545

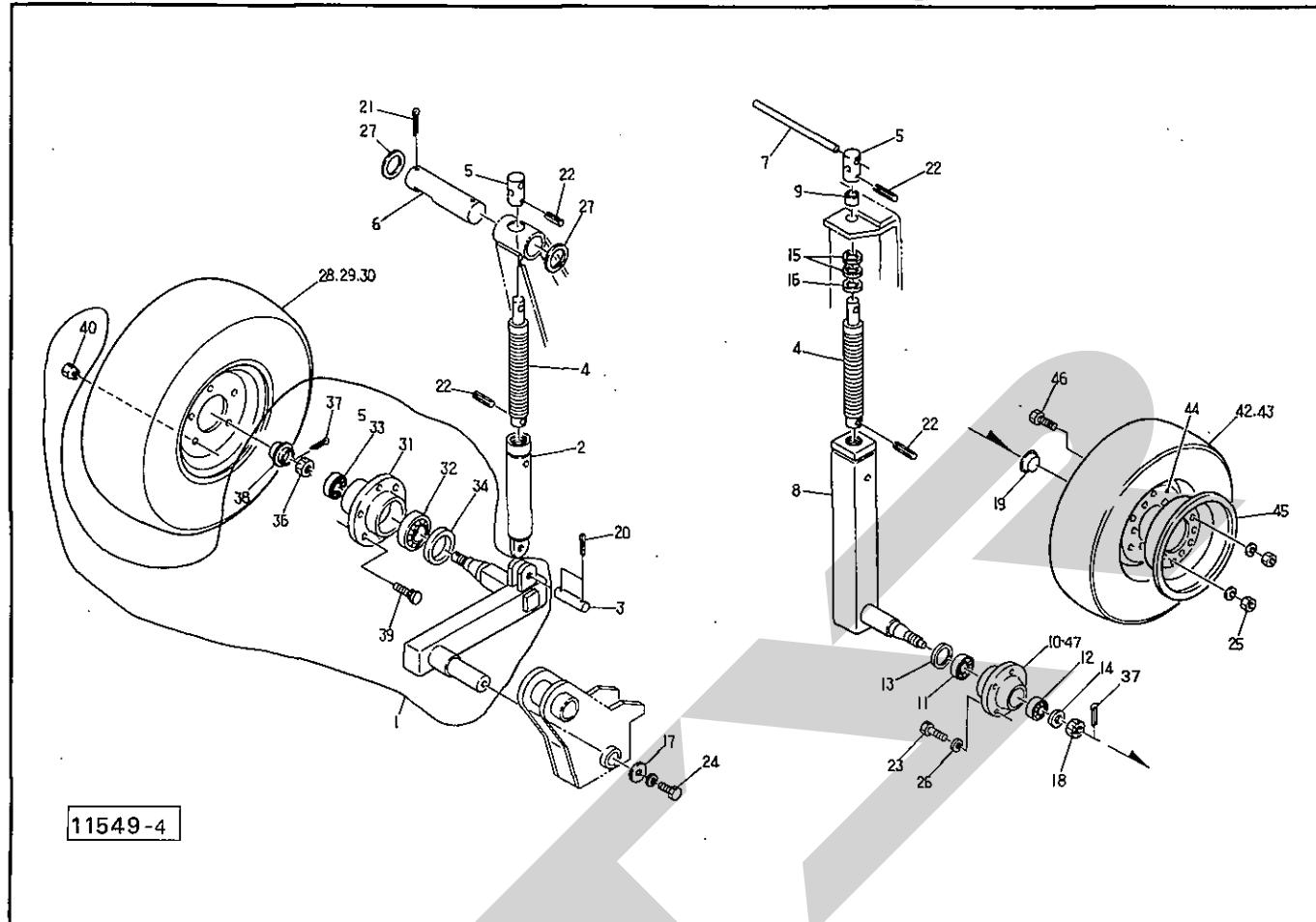
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	81384	プレーンロール	1	26	00732	メタル；30	1
2	81386	フロントロール	1	27	00473	メタルカバー	1
3	81390	シャフト；フロント	1	28	JCS206LLU	ユニットベアリング；CS 206 LLU	1
4	81391	リヤロール	1	29	DC 30	スナップリング；S 30	1
5	82472	フィードロール	1	30	DC 35	スナップリング；S 35	1
6	81106	メタル	1	31	DHC 62	スナップリング；H 62	2
7	81117	カラー	1	32	PC 5036G	ワリピン；5×36	8
8	81115	プレート	2	33	PS 6040	スプリングピン；6×40	1
9	81109	スプロケット；13T	1	34	WRA 24G	ワッシャ；M 24	8
10	82473	ガイドアーム；R	1	35	BZA1260NG	ボルト；M 12×60全ねじ(8.8)	2
11	82475	ガイドアーム；L	1	36	BRZ0825G	カクネボルト；M 8×25(8.8)	4
12	81401	ブッシュ	4	37	NP 08G	スプリングナット；M 8	4
13	96104	ワッシャ	4	38	LD 5049	ローラーチェーン；50×49 (39、45付)	1
14	82565	カラー	1	39	AA 50	ツギテ；50	2
15	82567	スプロケット；18T	1	40	ONAS 6G	グリースニップル；A-M 6×1F	4
16	81453	カラー	1	41	ONBS 6G	グリースニップル；B-M 6×1F	6
17	81110	スプロケット；30T	1	42	25266	キュウメンザガネ	2
18	81129	メタル	2	43	NZ 10WG	ナット；M 10(8)	6
19	81403	リフトアーム	2	44	82568	カラー	1
20	81404	ブッシュ	4	45	AD 50	1ピッチオフセット；50	2
21	81405	シフトアーム；R	1	46	LD 5031	ローラーチェーン；50×31 (39、45付)	1
22	81408	シフトアーム；L	1				
23	81409	スプリング	2				
24	70286	スプリングホルダ	2				
25	66871	カラー	1				

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター フレーム



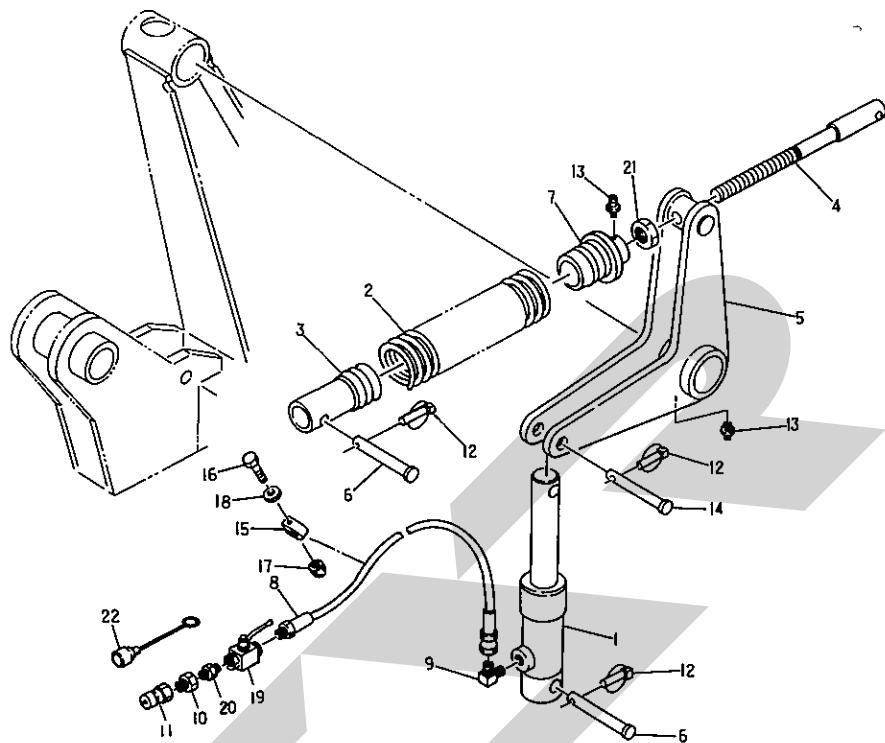
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
2	81343	ダクト MFH3520	1	27	PS 6032	スプリングピン； 6×32	4
3	81501	トップケーシング MFH3520	1	28	00453	デルタピン； 9	2
4	81503	ケーシングカバー	1	29	00085	ベータピン； 8×1.6	2
5	81339	ボトムプレート； A MFH3520	1	30	BZ 0820G	ボルト； M 8×20 (8.8)	24
6	81341	ボトムプレート； B MFH3520	1	31	NP 08G	スプリングナット； M 8	24
7	81357	フランジ	1	32	NN 08G	ナイロンナット； M 8	1
8	81356	ステー	1	33	BZ 0825AG	ボルト； M 8×25 (8.8)	2
9	81379	カウンタパイプ	1	34	BZ 1025AG	ボルト； M 10×25 (8.8)	2
10	57922	レバー	1	35	BZ 1035AG	ボルト； M 10×35 (8.8)	8
11	57897	スプリング	1	36	44098	ワッシャ； 10	5
12	82682	シャフト	1	37	WRA 20G	ワッシャ； M 20	3
13	83932	ピン	2	38	WS 08G	Sワッシャ； M 8	2
14	83933	スプリング	2	39	76582	キャップ	1
15	81499	スタンド	1	40	81708	ピン	2
16	82683	カバー； R	1	41	81728	ブラケット	2
17	81514	カバー； U	1	42	81729	ピン	2
18	79658	ニギリ； 40	4	43	86161	ワッシャ	7
19	WRA 08G	ワッシャ； M 8	8	44	BZ 1025WG	ボルト； M 10×25 (8.8)	2
20	ONAS 6	グリースニップル； A-M 6×1 F	1	45	82665	テンションブラケット	1
21	79659	サラバネ	16	46	81267	テンションロール	1
22	PS 4016	スプリングピン； 4×16	4	47	DC 17	スナップリング； S 17	1
23	81342	チャンネル	1	48	NZ 16WG	ナット； M 16 (8)	2
24	77934	ピン	1	49	42322	ワッシャ； 16	2
25	44289	ニギリ； M 8	1	50	84227	ドローバ	1
26	PS 5032	スプリングピン； 5×32	2	51	84228	ピン	1
				52	00738	リンチピン； 6	1

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
アクスル・タイヤ・ハブ



見出番号	部品番号	部品名 称	個数	見出番号	部品番号	部品名 称	個数
1	104532	ハブツキアクスル；R	1	26	WS 12G	Sワッシャ；M 12	6
2	81362	ホルダ	1	27	66208	ワッシャ；5 1	2
3	81363	ピン	1	28	00379	タイヤ；10 ₈₀ -12-6 PR	1
4	81364	スピンドル	2	29	00386	チューブ；10 ₈₀ -12	1
5	81365	レバー-ホルダ	2	30	00854	ホイール；7.00×12	1
6	81369	ピン	1	31	00873	ハブ；F 62×80 ④47付	1
7	81366	ピン	1	32	J 30208	テーパベアリング；30208	1
8	82502	アクスル；L	1	33	J 30206	テーパベアリング；30206	1
9	81368	カバー	1	34	00874	シールワッシャ；40×80	1
10	00406	ハブ；52×72 ④47付	1				
11	J 30207	テーパベアリング；30207	1	36	00712	キャッスルナット；M 24×1.5	1
12	J 30205	テーパベアリング；30205	1	37	PC 4032G	ワリピン；4×32	2
13	00500	シールワッシャ；35×72	1	38	00415	キャップ；6 2	1
14	WRA 24G	ワッシャ；M 24	1	39	00870	ボルト；M 16×1.5×45	5
15	72860	ワッシャ	2	40	00871	ホイールナット；M 16×1.5	5
16	58616	ザガネ	1				
17	41383	リールプレート	1	42	55529	タイヤ；600-9-10 PR	1
18	00417	キャッスルナット；M 24×1.5	1	43	55530	チューブ；600-9	1
19	00414	キャップ；5 2	1	44	64906	ホイール；4.00E-9 DT ④45付	1
20	PC 3232G	ワリピン；3.2×32	2	45	64907	ホイール(バレブ穴付)；4.00E-9 DT	1
21	PC 8063G	ワリピン；8×63	2	46	BZ 1225AG	ボルト；M 12×25(8.8)	6
22	PS 8032	スプリングピン；8×32	4	47	ONBS1	グリースニップル；B-PT 1/8	1
23	00421	ボルト；M 12×1.5×45(8.8)	6				
24	BZ 1215WG	ボルト；M 12×25(8.8)	1				
25	NZ 12150WG	ナット；M 12×1.5(8)	6				

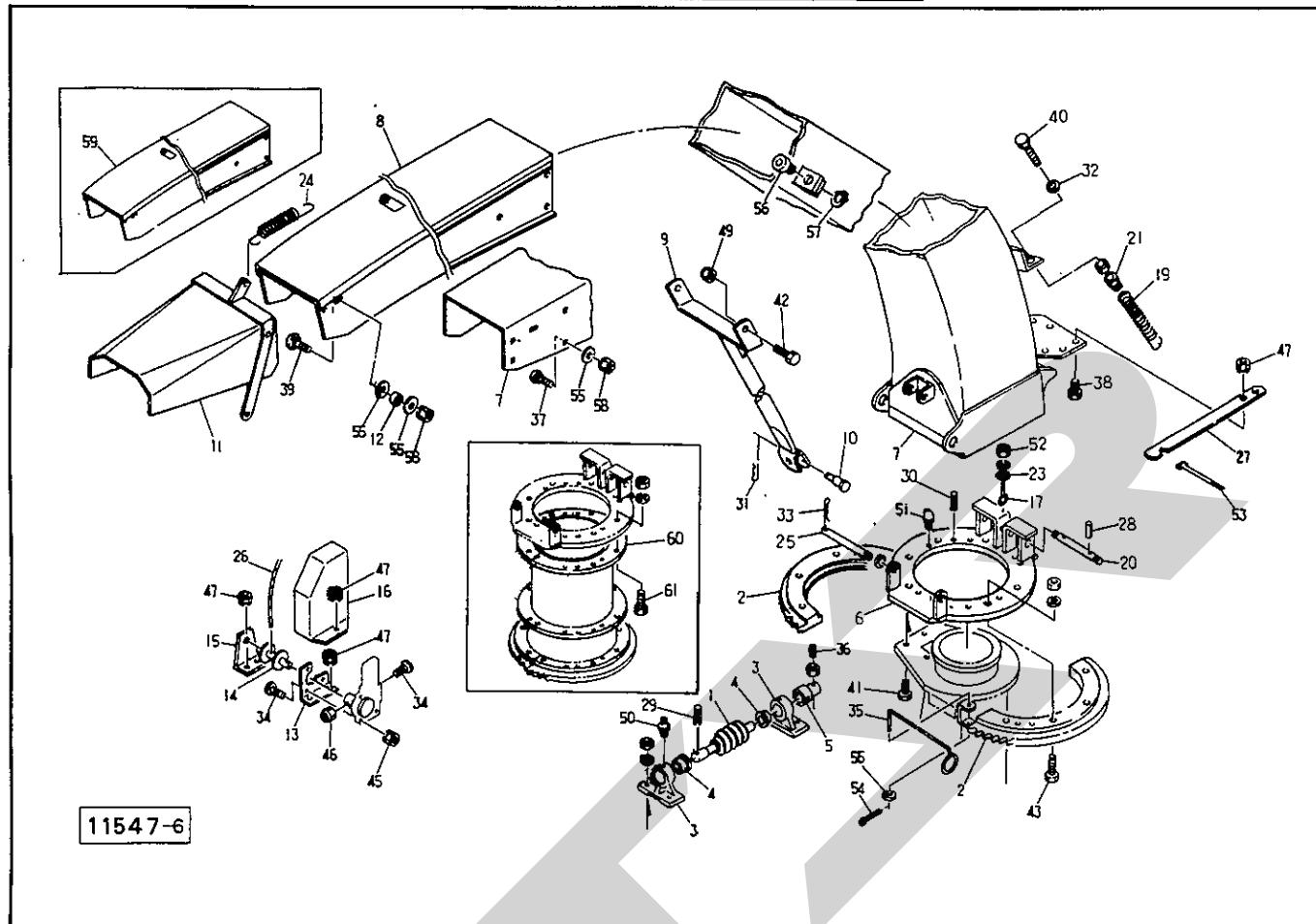
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター フローティング



11548 - 3

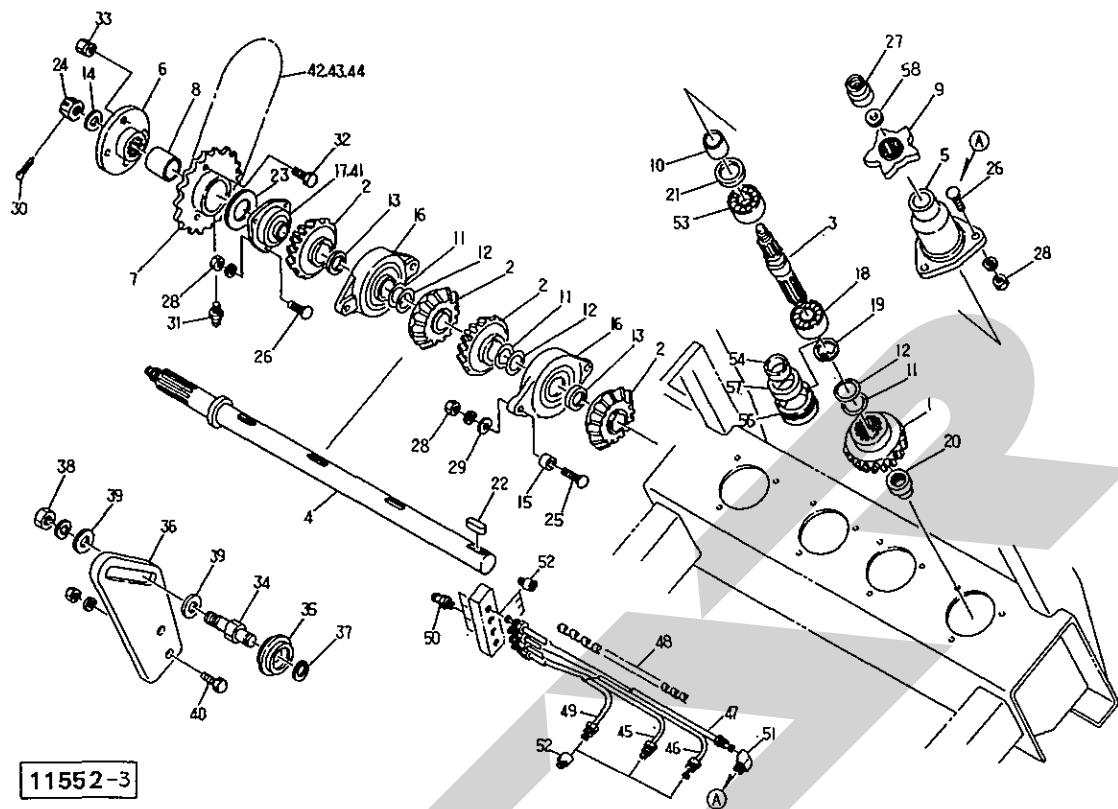
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	81370	ラムシリンダ；35×175	1				
2	81371	スプリング	1				
3	81372	スプリングホルダ	1				
4	81373	スクリュー；アジャスト	1				
5	81374	リフティングアーム	1				
6	81375	ピン	2				
7	66915	スプリングホルダ	1				
8	00503	ホース；1/4×5000	1				
9	YL20	エルボ(90)；PT 1/4×PF 1/4	1				
10	KB4030	ブッシング；1/2×3/8	1				
11	CLF40M	カプラ(オス)；1/2	1				
12	00739	リングピン；9	3				
13	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	2				
14	81515	ピン	1				
15	72183	クリップ	1				
16	BZ0850	ボルト；M8×50(8.8)	1				
17	NN08	ナイロンナット；M8	1				
18	44097	ワッシャ；8	1				
19	00928	ストップバルブ；1/4	1				
20	KN3020	ニップル；3/8×1/4	1				
21	87229	ロックナット；20	1				
22	00778	カプラキャップ；1/2	1				

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター シート



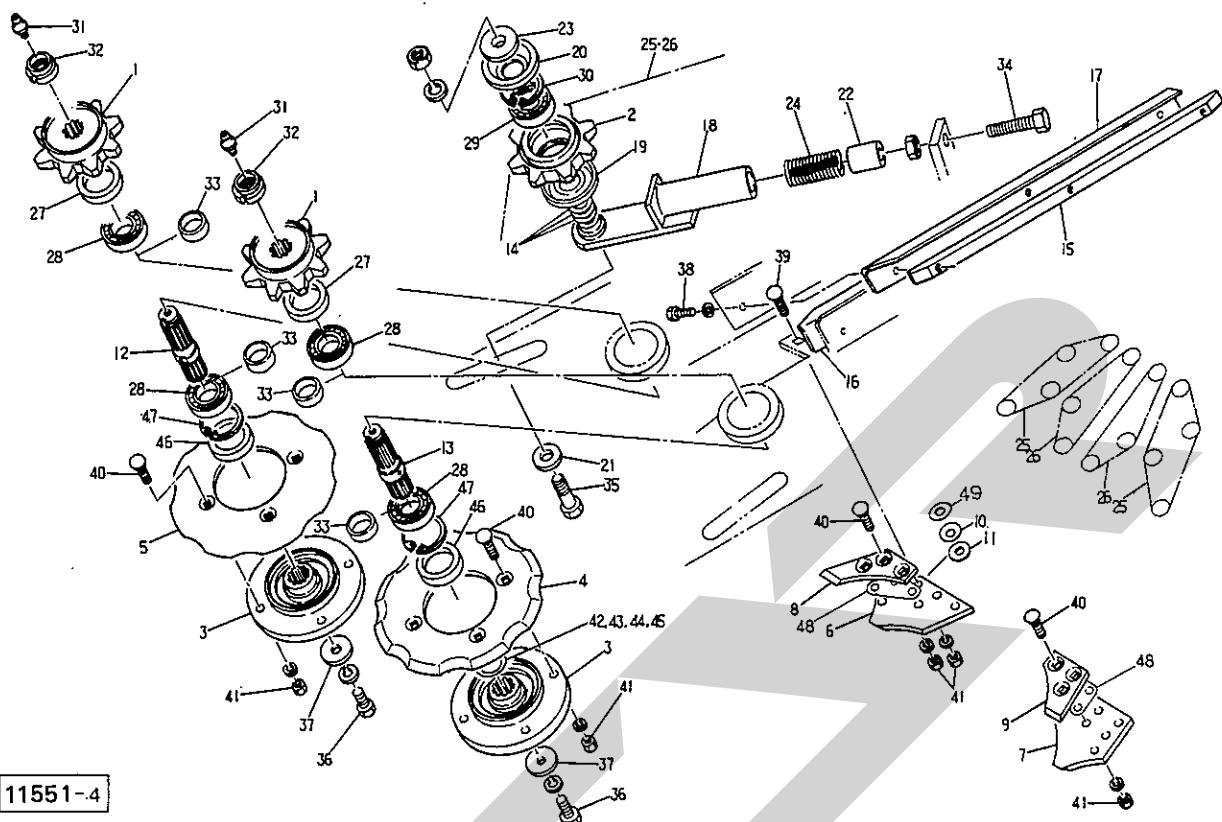
品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数	
1	81460	ウォーム	1	28	PS5032	スプリングピン；5×32	2	
2	81461	ウォームホイール	2	29	PS8050	スプリングピン；8×50	1	
3	81462	メタル	(見4,50付)	2	30	PS8040	スプリングピン；8×40	4
4	81463	ブッシュ	2	31	00085	ペータピン；8×1.6	1	
5	81464	カッピング	1	32	25266	キュウメンザガネ	2	
6	100138	フランジ	1	33	PC5036G	ワリピン；5×36	2	
7	100136	シート	1	34	CP0625G	ナベコネジ；M6×25	4	
8	84344	イクステンションシート	1	35	71615	ホースウケ	1	
9	81467	ステー	1	36	MD0820N	ロッカクアナトメネジ；M8×20	1	
10	76132	ピン	1	37	00451	カクネボルト；M10×25	6	
11	84345	ヘッド	1	38	BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	8	
12	84346	カラー	3	39	00443	カクネボルト；M10×35(8.8)	3	
13	70347	ブラケット	1	40	BAAZ12100NG	ボルト；M12×100(8.8)(全ねじ)	2	
14	72942	ブーリ	1	41	BZ1035AG	ボルト；M10×35(8.8)	4	
15	72944	アングル	1	42	BZ1030G	ボルト；M10×30(8.8)	2	
16	70343	カバー	1	43	BZ1260AG	ボルト；M12×60(8.8)	8	
17	96536	アイボルト	1	45	NP06G	スプリングナット；M6	3	
19	47393	スプリング；A8×37×705	2	46	NN06G	ナイロンナット；M6	1	
20	100137	ピン	1	47	NP08G	スプリングナット；M8	11	
21	70286	スプリングホルダ	2	49	NN10G	ナイロンナット；M10	2	
23	67931	ワッシャ；12	1	50	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	2	
24	27445	スプリング	1	51	ONCS6	グリースニップル；C-M6×1F	4	
25	81468	ピン	1	52	NZ12WG	ナット；M12(8)	1	
26	82678	ロープ	1	53	ILT50R	インシュロック；T50R	1	
27	83151	サポート	1	54	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1	

ARC3520 ピッカドライブ



番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	73979	マイタギヤ; M5×18T	4	27	85801	カシメロックナット; M20×1	4
2	73980	マイタギヤ; M5×18T	4	28	NZ10WG	ナット; M10 (8)	19
3	100140	シャフト	4	29	44098	ワッシャ; 10	4
4	81539	シャフト (④24、30付)	1	30	PC4040G	ワリピン; 4×40	1
5	91183	ハウジング	4	31	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	1
6	82582	シャーボルトホルダ	1	32	81232	シャーボルト; M6×30 予備3個	4
7	82584	スプロケット; 25T (④8、31付)	1	33	NP06G	スプリングナット; M6 予備3個	4
8	81177	ブッシュ	1	34	81686	テンションピン (④38付)	1
9	100143	スプロケット; 5T	4	35	81267	テンションロール	1
10	91184	カラー; 25×22	4	36	81688	プレート	1
11	70420	シム	—	37	DC17	スナップリング; S17	1
12	70421	シム	—	38	NZ16WG	ナット; M16 (8)	1
13	26756	ブッシュヨウザガネ	6	39	42322	ワッシャ; 16	2
14	75318	ザガネ	1	40	BZ1235AG	ボルト; M12×35 (8.8)	2
15	81684	カラー	4	41	JUC206D1	ユニットペアリング; UC206D1	1
16	JUCFL206	フランジユニット; UCFL206	2	42	LD5055	ローラチェーン; 50×55 (④4344付)	1
17	00729	メタル	1	43	AA50	ツギテ; 50	1
18	J6306	ペアリング; 6306	4	44	AD50	1ピッチオフセット; 50	1
19	DHC72	スナップリング; H72	4	45	82571	キュウユホース; 250	1
20	82316	カシメロックナット; M25×1.5	4	46	83642	キュウユホース; 375	1
21	S30458	オイルシール; S30458	4	47	83643	キュウユホース; 590	1
22	KFC08070250	キー; 8×7×25 (両丸)	4	48	83644	コイルチューブ; Ø60×500	1
23	WRA30G	ワッシャ; M30	1	49	65755	キュウユホース; 87	1
24	NC2L20150G	キャッスルナット; M20×1.5 (2種低形)	1	50	ONAS1	グリースニップル; A-PT%	4
25	00443	カクネボルト; M10×35 (8.8)	4	51	K869935	LFツギテ; %	1
26	43067	カクネボルト; M10×30 (8.8)	15	52	K869932	SFツギテ; %	7

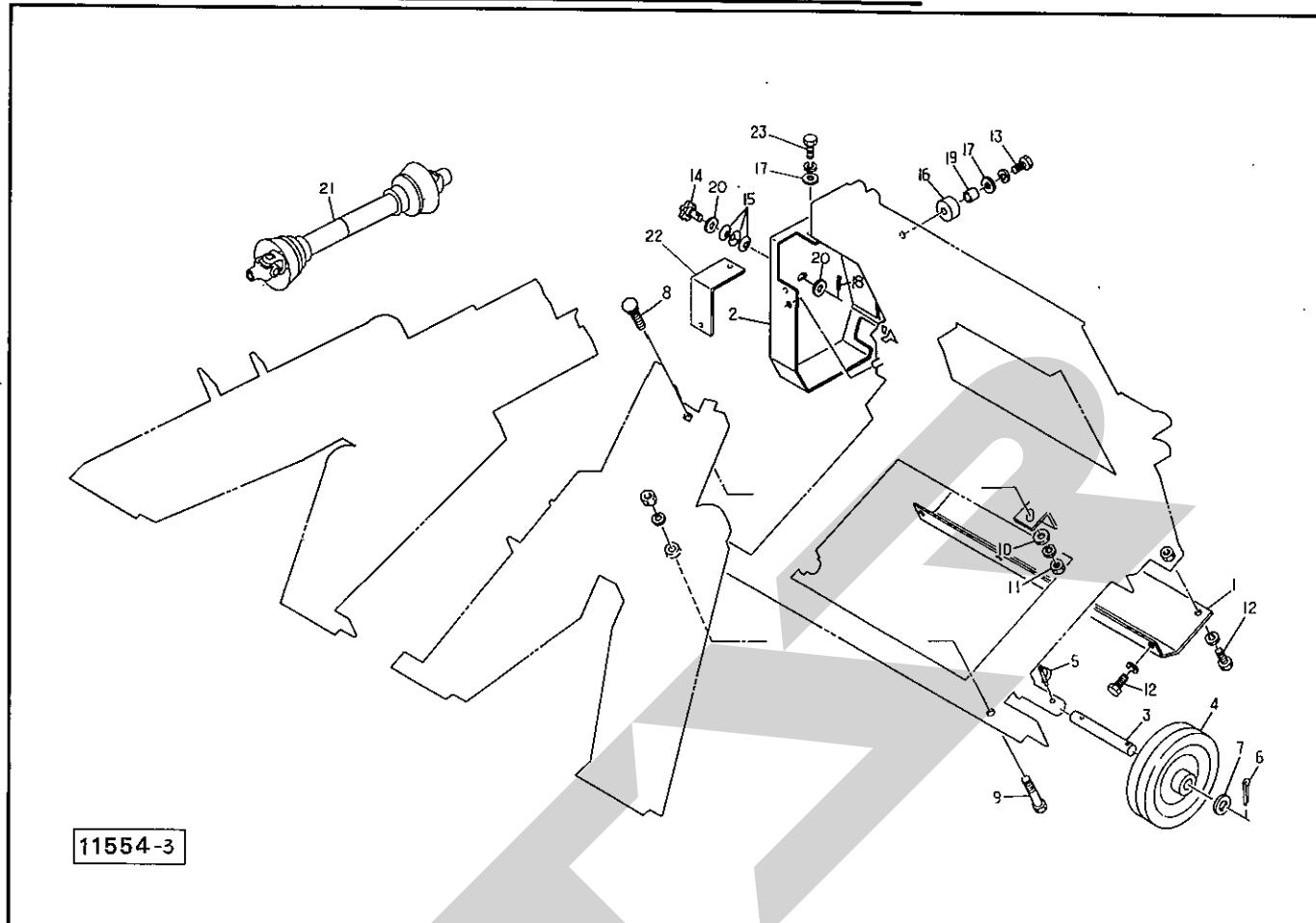
ARC3520 ギャザリング



11551-4

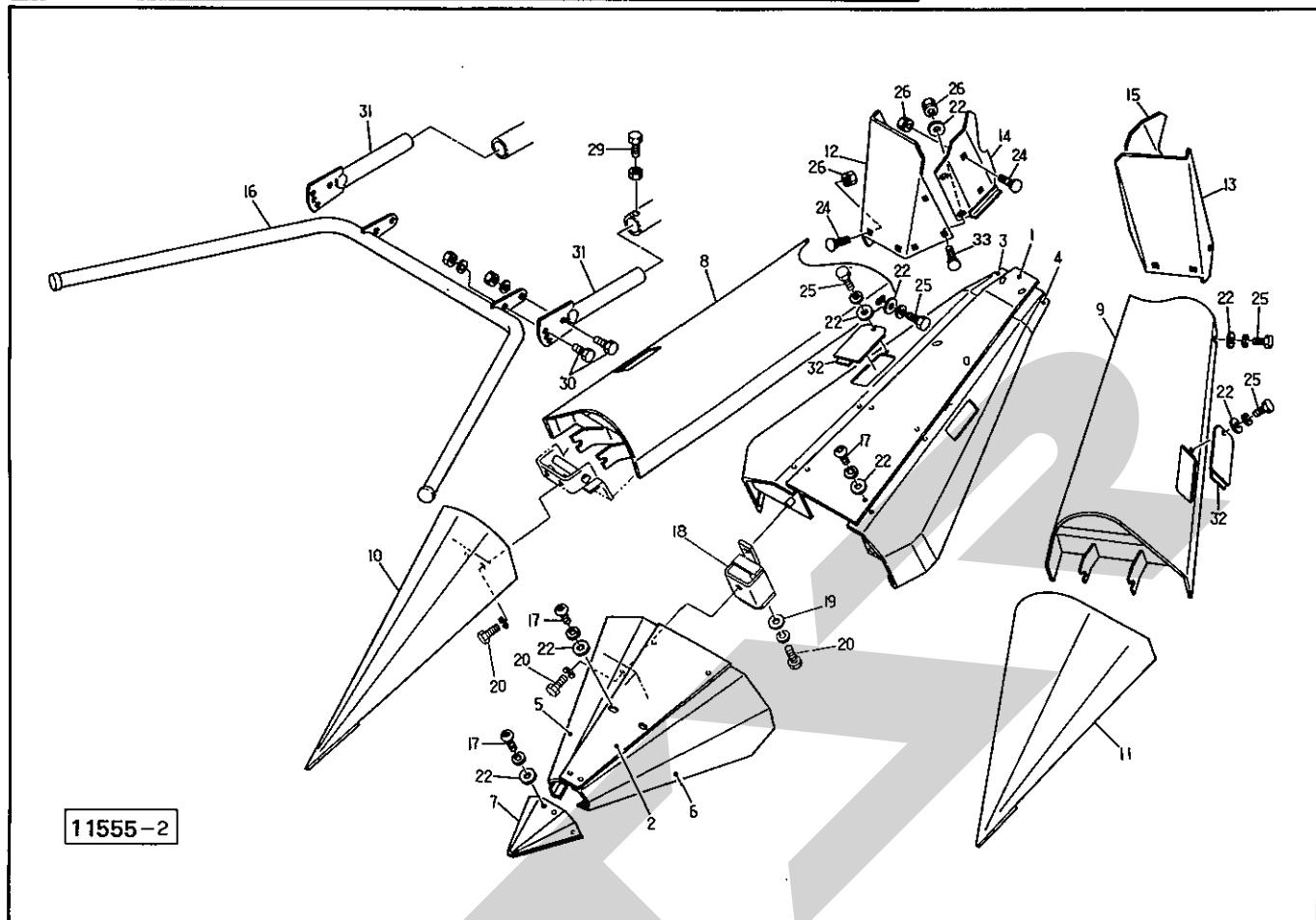
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	70422	スプロケット；8T	4	26	80979	ギャザリングチェーン；44	2
2	63513	スプロケット；8T	4	27	GM48626	オイルシール；GM48626	4
3	91303	ナイフホルダ	4	28	J6207Z	ペアリング；6207Z	8
4	100198	ナイフ；R	2	29	J6206LLU	ペアリング；6206LLU	4
5	100199	ナイフ；L	2	30	DHC62	スナップリング；H62	4
6	81639	スクレーパ1；R	1	31	ONAS1G	グリースニップル；A-PT $\frac{1}{8}$	4
7	81640	スクレーパ1A；L	1	32	82316	ロックナット；M2.5×1.5	4
8	81641	スクレーパ2；R	1	33	91181	カラー；30×17	8
9	81642	スクレーパ2；L	1	34	BAAZ16110NG	ボルト；M16×110全ねじ(8.8)	4
10	85804	シム	—	35	BZ1680AG	ボルト；M16×80(8.8)	4
11	85805	シム	—	36	BZ1225WG	ボルト；M12×25(8.8)	4
12	91179	シャフト	2	37	93059	ワッシャ；12	4
13	91180	シャフト	2	38	BZ0820WG	ボルト；M8×20(8.8)	12
14	100350	シム；3.05×1.0	12	39	43067	カクネボルト；M10×30	6
15	70434	バー；レール	4	40	44091	カクネサラボルト；M10×30	22
16	83636	アングル；1	2	41	NZ10WG	ナット；M10	28
17	83637	アングル；2	2	42	70420	シム	—
18	83638	テンショナ	4	43	70421	シム	—
19	70433	キャップ	4	44	59986	シム；Φ3.05×0.1	—
20	63514	キャップ；1	4	45	59987	シム；Φ3.05×0.2	—
21	63517	ワッシャ；1.7	4	46	S48728	オイルシール；S48728	4
22	73414	ピン	4	47	DHC72	スナップリング；H72	4
23	100193	ワッシャ	4	48	100190	シム	—
24	94349	スプリング	4	49	59986	シム；Φ25-Φ14×0.8	—
25	83632	ギャザリングチェーン；48	2				

ARC3520 デバイダフレーム



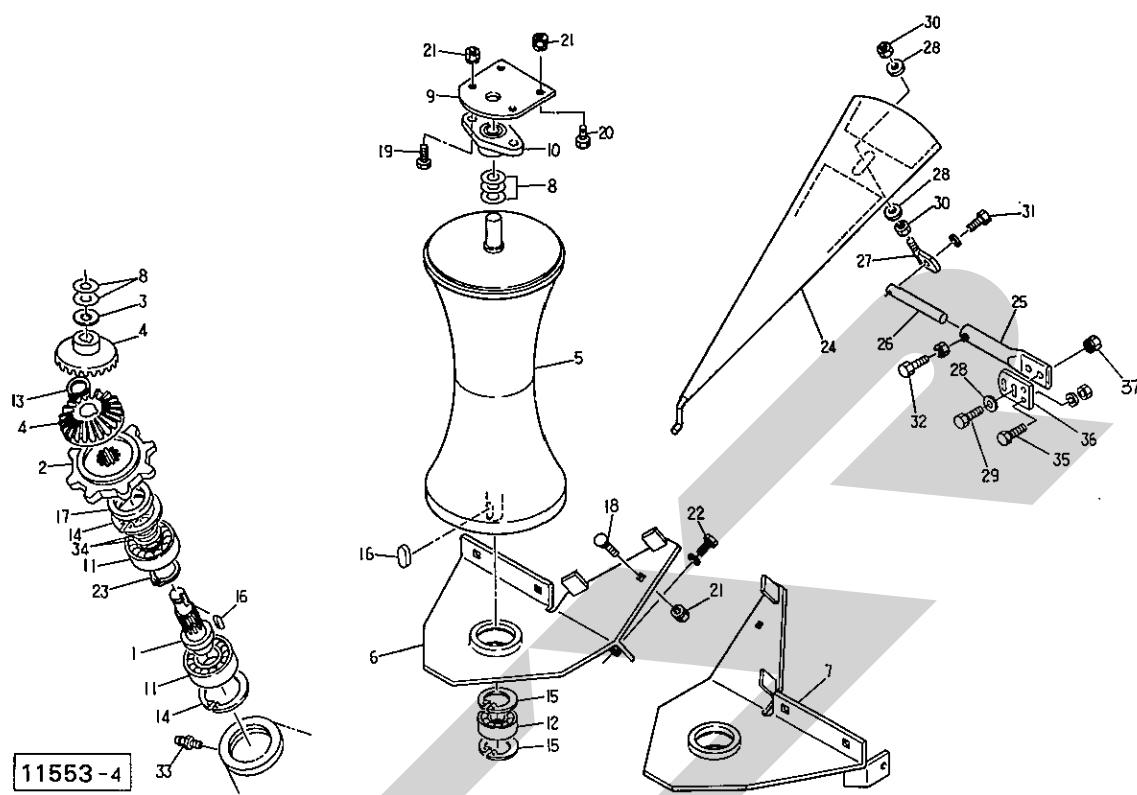
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	83674	カバー	1				
2	81685	カバー	1				
3	104478	シャフト ⑩6、7付	2				
4	103277	ホイール	2				
5	00453	デルタピン；9	2				
6	PC4032G	ワリピン；4×3 2	2				
7	WRA20G	ワッシャ；M 2 0	2				
8	58338	カクネボルト；M 1 2 × 3 5 (8.8)	2				
9	BZ1290AG	ボルト；M 1 2 × 9 0 (8.8)	4				
10	67931	ワッシャ；1 2	2				
11	NZ12WG	ナット；M 1 2 (8)	2				
12	BZ0820WG	ボルト；M 8 × 2 0 (8.8)	8				
13	BZ0825WG	ボルト；M 8 × 2 5 (8.8)	1				
14	79658	ニギリ；4 0	1				
15	79659	サラバネ	4				
16	44622	ショックアブソーバ；B	1				
17	44097	ワッシャ；8	3				
18	PS4016	スプリングピン；4×1 6	1				
19	44617	カラー	1				
20	WRA08G	ワッシャ；8	2				
21	81615	パワージョイント；LA-3 3	1				
22	100521	カバー	1				
23	BZ0816WG	ボルト；M 8 × 1 6 (8.8)	2				

ARC3520
ロークロップカバー



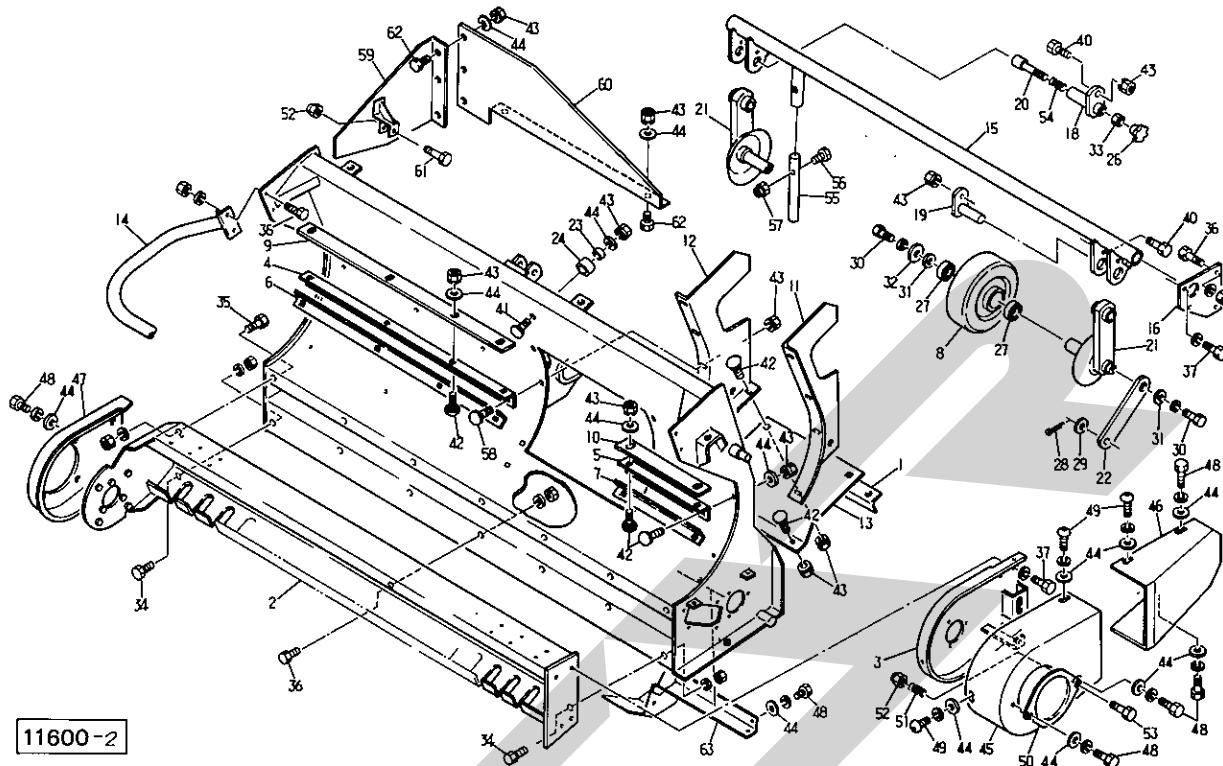
品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	83684	センターカバー；RE	1	30	BZ1235AG	ボルト；M12×35(8.8)	4
2	83685	センターカバー；F	1	31	83730	ステー	2
3	83686	リヤカバー；R	1	32	73438	カバー	4
4	83691	リヤカバー；L	1	33	59483	カクネボルト；M8×25(8.8)	2
5	100127	フロントカバー；R	1				
6	100128	フロントカバー；L	1				
7	100126	スキッドシュー	1				
8	83704	デバイダカバー；R	1				
9	83708	デバイダカバー；L	1				
10	100097	ポイント；R	1				
11	100100	ポイント；L	1				
12	83721	ロールカバー；R	1				
13	83722	ロールカバー；L	1				
14	83723	カバー；R	1				
15	83726	カバー；L	1				
16	83729	ストークガイド	1				
17	RB0820WG	ボタンコネジ；M8×20(10.9)	16				
18	100165	ブラケット	2				
19	42783	ワッシャ；12	2				
20	BZ1230WG	ボルト；M12×30(8.8)	8				
22	44097	ワッシャ；8	40				
24	55474	カクネボルト；M8×20(8.8)	12				
25	BZ0820WG	ボルト；M8×20(8.8)	10				
26	NP08G	スプリングナット；M8	14				
29	BZ1025NG	ボルト；M10×25(8.8)	2				

ARC3520 タテロール



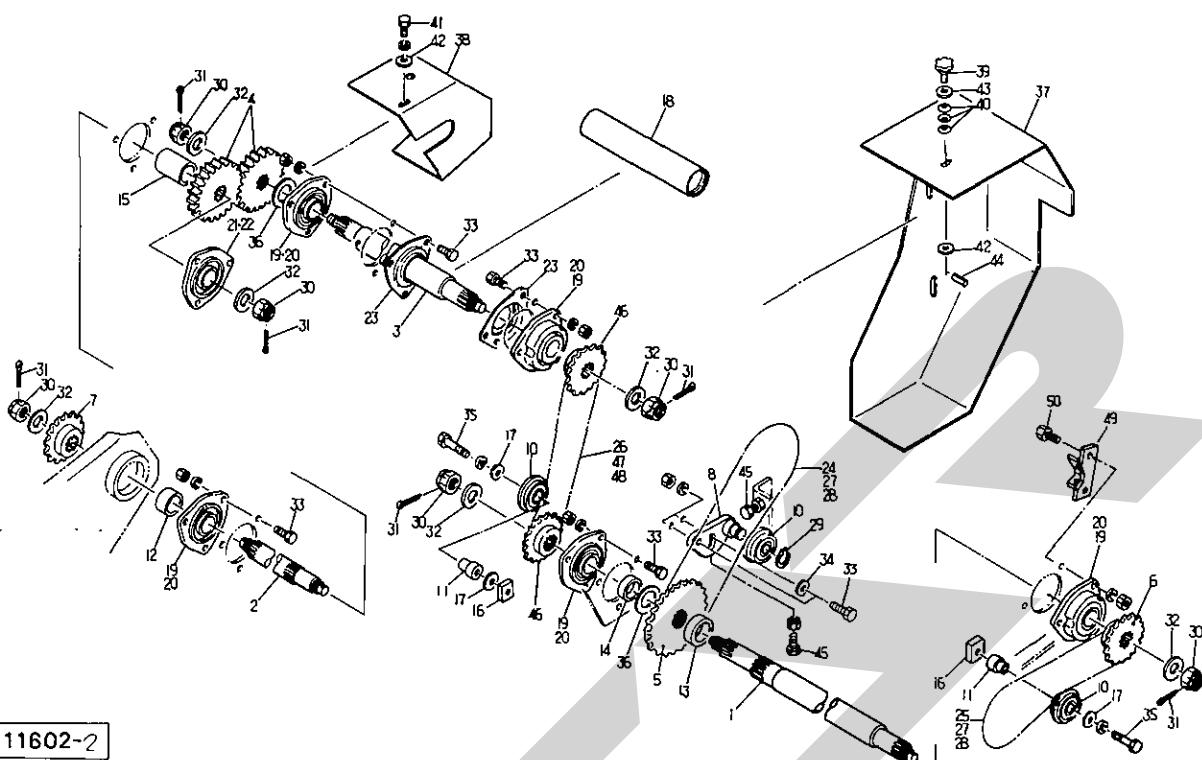
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	100192	シャフト	2	26	73419	サポートバー	1
2	70422	スプロケット；8T	2	27	67925	ホルダー	④30付 1
3	59097	ワッシャ；3.2×20	2	28	42783	ワッシャ；12	4
4	81542	ベベルギヤ；20T	4	29	BZ1240AG	ボルト；M12×40(8.8)	2
5	83635	ロール	2	30	NZ12G	ナット；M12(8)	2
6	83731	プラケット；R	1	31	BZ1030WG	ボルト；M10×30(8.8)	1
7	83732	プラケット；L	1	32	BZ1030NG	ボルト；M10×30(8.8)	1
8	57788	シム	—	33	ONAS1G	グリースニップル；A-PT1/8	2
9	81683	プレート	2	34	100190	シム	4
10	JASFB204	フランジユニット；ASFB204	2	35	BZ1025G	ボルト；M10×25(8.8)	2
11	J6206Z	ペアリング；6206Z	4	36	100183	プレート	1
12	J6204LLU	ペアリング；6204LLU	2	37	NP10G	スプリングナット；M10	2
13	DC20	スナップリング；S20	2				
14	DHC62	スナップリング；H62	4				
15	DHC47	スナップリング；H47	4				
16	KFC05050200	キー；5×5×20(両丸)	4				
17	GM48626	オイルシール；GM48626	2				
18	55474	カクネボルト；M8×20(8.8)	2				
19	BZ0825G	ボルト；M8×25(8.8)	4				
20	BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	4				
21	NP08G	スプリングナット；M8	10				
22	BZ1025WG	ボルト；M10×25(8.8)	4				
23	DC30	スナップリング；S30	2				
24	83852	デバイダ	1				
25	73418	サポートホルダー	④32付 1				

APU3500 ピックアップアタッチメント フレーム



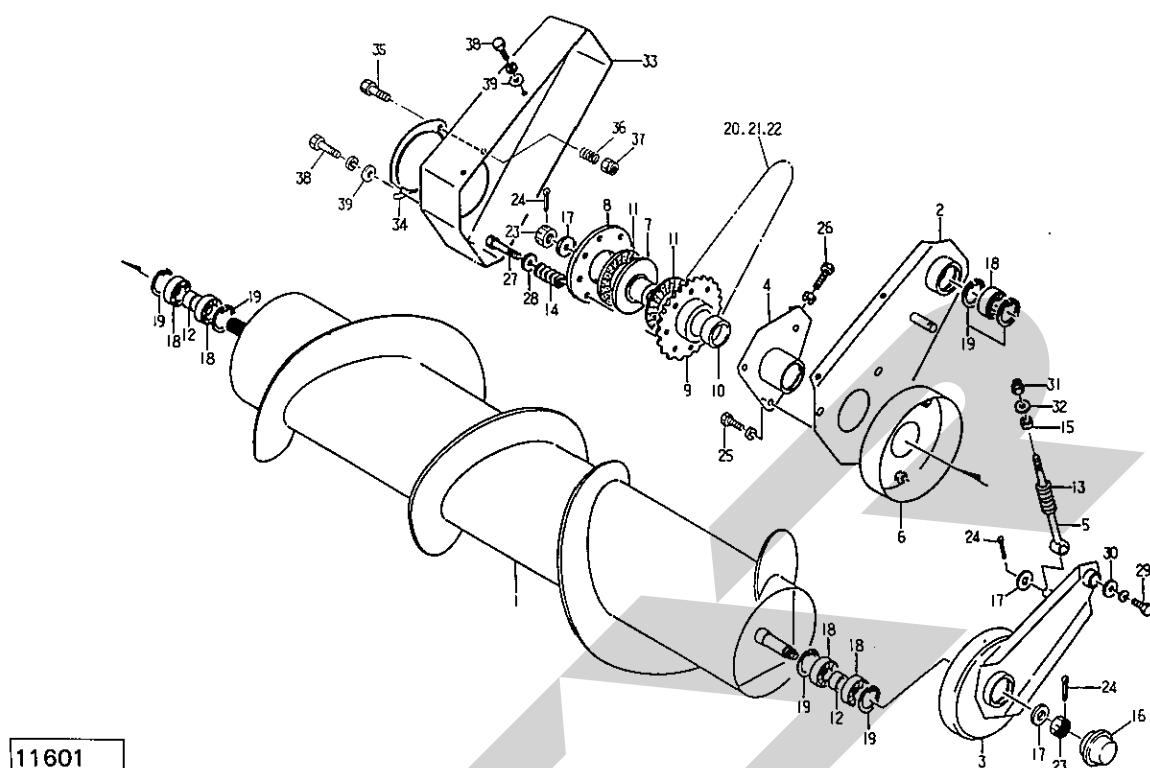
品出号	部品番号	部品名称	個数	品出号	部品番号	部品名称	個数
1	84086	アングル	1	28	PC3232G	ワリピン；3.2×32	2
2	82637	ピックアップフレーム	1	29	42322	ワッシャ；16	2
3	82491	サイドプレート	1	30	BZ1225WG	ボルト；M12×25(8.8)	4
4	82638	アングル1；R	1	31	40608	ホルダザガネ	4
5	82639	アングル1；L	1	32	63467	ワッシャ	2
6	82640	アングル2；R	2	33	NZ12G	ナット；M12(8)	1
7	82641	アングル2；L	2	34	BZ1230AG	ボルト；M12×30(8.8)	2
8	80200	ホイール	2	35	BZ1030AG	ボルト；M10×30(8.8)	1
9	82644	スクレーパ；R	1	36	BZ1025AG	ボルト；M10×25(8.8)	18
10	82645	スクレーパ；L	1	37	BZ1025WG	ボルト；M10×25(8.8)	5
11	82646	ブラケット；L	1	40	BZ0825G	ボルト；M8×25(8.8)	2
12	82647	ブラケット；R	1	41	00460	カクネボルト；M8×30(8.8)	1
13	82648	プレート	1	42	55474	カクネボルト；M8×20(8.8)	28
14	82649	ガード	1	43	NP08G	スプリングナット；M8	43
15	82855	パイプ	1	44	44097	ワッシャ；8	53
16	82856	プレート	1	45	82621	カバー	1
18	82858	ピン	1	46	82622	カバー	1
19	82860	ピン	1	47	82623	カバー	1
20	82861	ピン	1	48	BZ0820WG	ボルト；M8×20(8.8)	14
21	82862	ゲージホイールステー	2	49	RB0820WG	ボタンコネジ；M8×20(10.9)	3
22	82863	プレート	2	50	56924	フランジ	1
23	44617	カラー	1	51	43299	カバーロックバネ	1
24	44622	ショックアブソーバ；B	1	52	NN08G	ナイロンナット；M8	2
26	00691	ニギリ；M12	1	53	BZ0840G	ボルト；M8×40(8.8)	1
27	J6005LLU	ペアリング；6005LLU	4	54	67032	スプリング	1

APU3500 ピックアップアタッチメント ドライブ



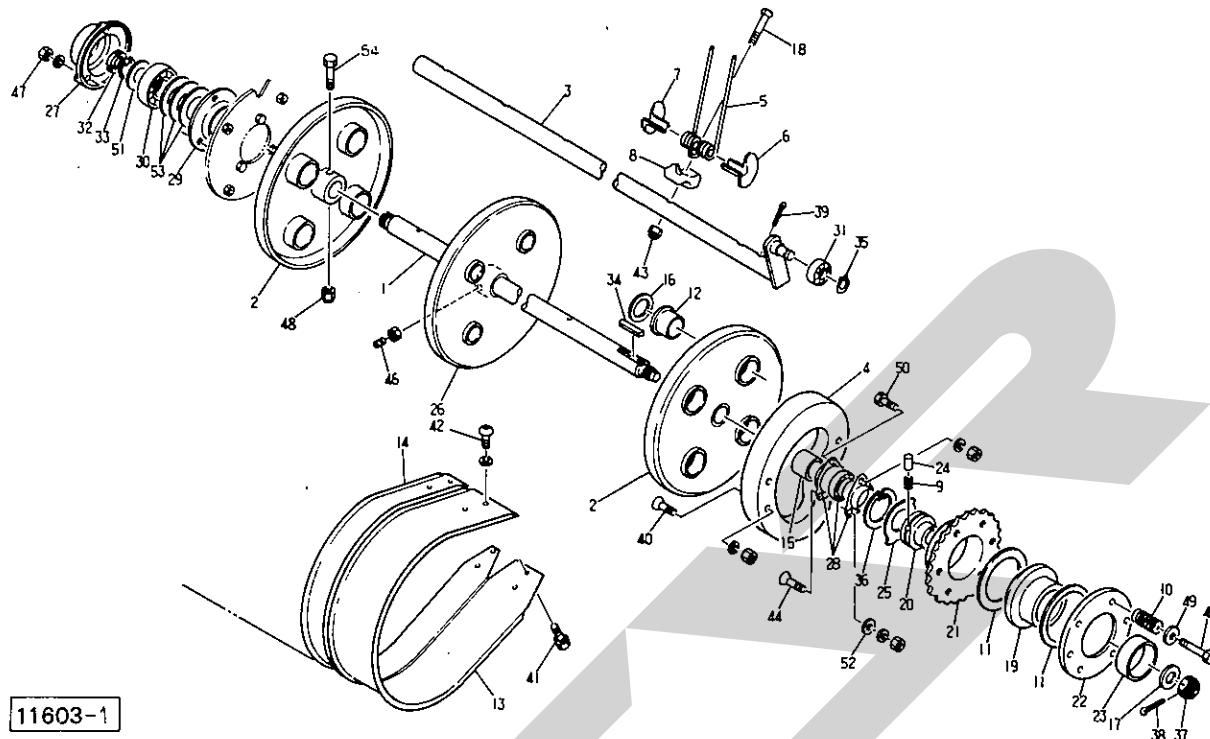
見出し番号	部品番号	部品名稱	個数	見出し番号	部品番号	部品名稱	個数
1	82626	シャフト；ドライブ	1	27	AA50	ツギテ；50	2
2	80917	シャフト	1	28	AD50	1ピッヂオフセット；50	3
3	82627	シャフト	1	29	DC17	スナップリング；S17	1
4	70830	ギヤ；22T	2	30	NC2L20150G	キャッスルナット；M20×1.5(2種低形)	6
5	82628	スプロケット；32T	1	31	PC3232G	ワリピン；3.2×32	6
6	70832	スプロケット；16T	1	32	75318	ザガネ	6
7	80773	スプロケット；18T	1	33	BZ1025AG	ボルト；M10×25(8.8)	17
8	61993	テンションアーム	1	34	44098	ワッシャ；10	1
10	81267	テンションローラ	3	35	BZ1260WG	ボルト；M12×60(8.8)	2
11	82660	カラー	2	36	77240	シム	2
12	70923	カラー	1	37	82853	カバー	1
13	67842	カラー	1	38	82854	カバー	1
14	55204	カラー	1	39	79658	ニギリ；40	3
15	82629	カラー	1	40	79659	サラバネ	9
16	80925	ナット	2	41	BZ0820WG	ボルト；M8×20(8.8)	2
17	40608	ホルダザガネ	3	42	44097	ワッシャ；8	5
18	82868	パイプ	1	43	58306	ワッシャ	3
19	00730	メタル；30	5	44	PS4016	スプリングピン；4×16	3
20	JUC206D1	ユニットベアリング；UC206D1	5	45	BZA1250NG	ボルト；M12×50全ネジ(8.8)	1
21	00731	メタル；25	1	46	70282	スプロケット15T	2
22	JUC305D1	ユニットベアリング；UC305D1	1	47	AA60	ツギテ；60	1
23	56426	メタルカバー	2	48	AD60	1ピッヂオフセット；60	2
24	LD5075	ローラチェーン；50×75 ①27,28付	1	49	85453	ブレケット	1
25	LD5086	ローラチェーン；50×86 ①27,28(2ヶ)付	1	50	BZ1030AG	ボルト；M10×30(8.8)	3
26	LD6070	ローラチェーン；60×70 ①47,48付	1				

**APU3500 ピックアップアタッチメント
オーガ**



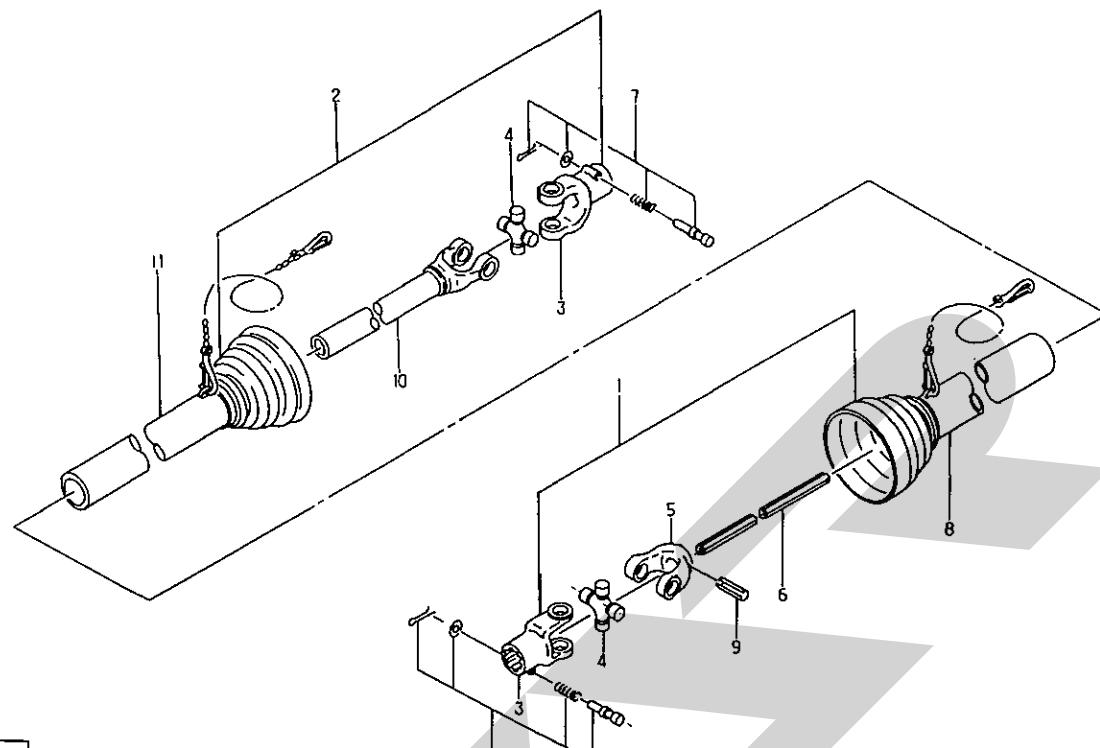
部品番号	部品名称	個数	部品番号	部品名称	個数
1 82630	オーガ	1	26 BZA1040NG	ボルト; M10×40全ネジ(8.8)	1
2 72988	アーム; R	1	27 BZ1070G	ボルト; M10×70(8.8)	8
3 72991	アーム; L	1	28 44098	ワッシャ; 10	8
4 72992	テンショナ	1	29 BZ1225WG	ボルト; M12×25(8.8)	1
5 82483	ロッド	2	30 67931	ワッシャ; 12	1
6 72993	フランジ	1	31 NN16G	ナイロンナット; M16	2
7 70906	ボス	1	32 42322	ワッシャ; 16	2
8 70907	プレート	1	33 81271	カバー	1
9 70908	スプロケット; 36T	1	34 56924	フランジ	1
10 70909	ブッシュ	1	35 BZ0840WG	ボルト; M8×40(8.8)	1
11 70910	フェーシングプレート	2	36 43299	カバーロックバネ	1
12 70922	カラー	2	37 NN08G	ナイロンナット; M8	1
13 63523	スプリング	2	38 BZ0820WG	ボルト; M8×20(8.8)	5
14 63313	スプリング	8	39 44097	ワッシャ; 8	5
15 73005	クッション	2			
16 00415	キャップ; 62	1			
17 75318	ザガネ	4			
18 J6206LLU	ペアリング; 6206LLU	5			
19 DHC62	スナップリング; H62	6			
20 LD5073	ローラーチェーン; 50×73 ②21、22付	1			
21 AA50	ツギテ; 50	1			
22 AD50	1ピッチオフセット; 50	1			
23 NC2L20150G	キャッスルナット; M20×15(2種低形)	2			
24 PC3232G	ワリピン; 3.2×32	4			
25 BZ1025WG	ボルト; M10×25(8.8)	3			

APU3500 ピックアップアタッチメント リール



品出号	部品番号	部品名称	個数	品出号	部品番号	部品名称	個数
1	82633	シャフト;ピック	1	26	82636	タインプレート; 1	1
2	86237	タインプレート	2	27	82503	フランジ	1
3	82634	タインバー	4	28	JASPF206	ユニットペアリング; AS PF 206	1
4	79282	カム	1	29	PF206	フランジ; PF 206	1
5	71026	タイン	40	30	JAS206	ペアリング; AS 206	1
6	66949	タインシュー; 1	40	31	JSBX0126LLU	ペアリング; SBX 0126 LLU	4
7	66950	タインシュー; 2	40	32	NJAN05	ペアリング; AN 05	1
8	66951	ホルダ	40	33	WAW05	ペアリングワッシャ; AW 05	1
9	63268	スプリング	2	34	KFB07070400	キー; 7×7×40 (片丸)	1
10	43249	クラッチアジャストスプリング	6	35	DC12	スナップリング; S 12	4
11	43248	フェーシングプレート	2	36	DHC68	スナップリング; H 68	1
12	64035	ナイロンブッシュ	12	37	NC2L20150G	キャッスルナット; M20×1.5 (2種低形)	1
13	82509	ロータフラッシュ; A	1	38	PC3232G	ワリピン; 3.2×32	1
14	80192	ロータフラッシュ; B	19	39	PC5056G	ワリピン; 5×56	12
15	86238	カラー	1	40	BJ0825AG	ロッカクアナサラボルト; M8×25 (10.9)	4
16	65487	シム; 3.5×1.2	12	41	BP0820G	スプリングボルト; M8×20 (8.8)	40
17	75318	ザガネ	1	42	RB0820WG	ボタンコネジ; M8×20 (10.9)	42
18	66952	ボルト	40	43	NN08G	ナイロンナット; M8	40
19	46050	ピックアップクラッチ	1	44	BJ0830AG	ロッカクアナサラボルト; M8×30 (10.9)	1
20	46051	クラッチボス	1	45	BZ1070G	ボルト; M10×70 (8.8)	6
21	80204	スプロケット	1	46	MC1020N	ロッカクアナトメジ; M10×20	1
22	43246	クラッチロックプレート	1	47	NZ10WG	ナット; M10 (8)	3
23	44088	クラッチロックブッシュ	1	48	NN10G	ナイロンナット; M10	2
24	63267	ピン	2	49	44098	ワッシャ; 10	6
25	63269	プレート	1	50	BZ1025AG	ボルト; M10×25 (8.8)	2

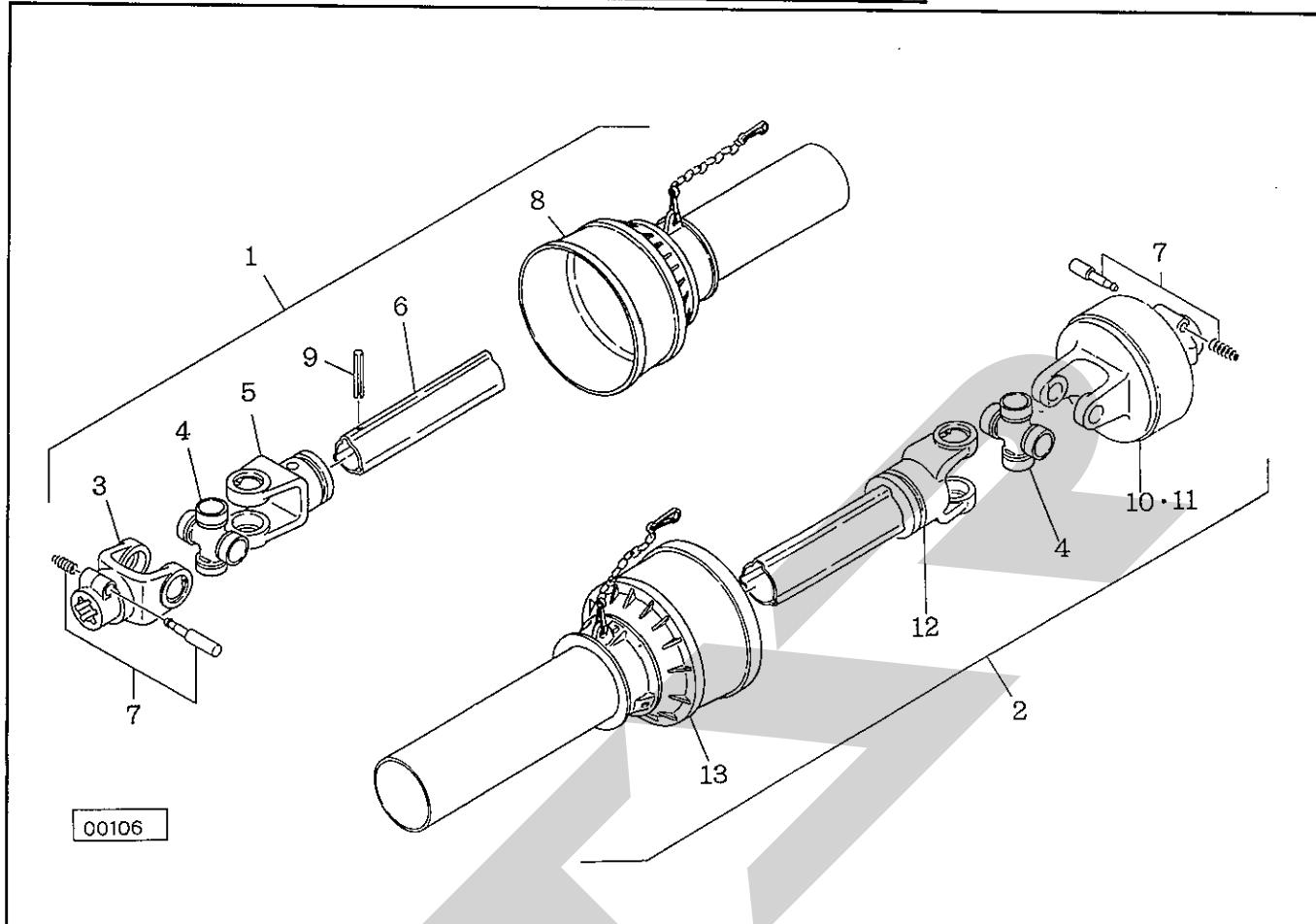
LA-33・LA-80
パワージョイント



品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
	LA-33				LA-80		
Asy	81615	パワージョイント; LA-33	1	Asy	6314-4	パワージョイント; LA-80	1
1	81615-1	パワージョイント; (インナ); LA-33	1	1	6282-704	パワージョイント(インナ); LA-80	1
2	81615-2	パワージョイント; (アウタ); LA-33	1	2	6283-404	パワージョイント(アウタ); LA-80	1
3	6226-11	ピンツキヨーク; LA (④7付)	2	3	6226-11	ピンツキヨーク; LA (④7付)	2
4	6286-6	スペイダ; LA	2	4	6286-6	スペイダ; LA	2
5	6228-11	フィッティングヨーク	1	5	6228-11	フィッティングヨーク	1
6	81615-5	パイプ(インナ)	1	6	6216-604	パイプ(インナ)	1
7	6287-1	クランップピン; 14	2	7	6287-1	クランップピン; 14	2
8	81615-3	アンゼンカバー(インナ)	1	8	6284-30	アンゼンカバー(インナ)	1
9	PS10075	スプリングピン; 10×75	1	9	PS10075	スプリングピン; 10×75	1
10	81615-6	パイプソキヨーク	1	10	6210-704	パイプソキヨーク	1
11	81615-4	アンゼンカバー(アウタ)	1	11	6285-30	アンゼンカバー(アウタ)	1

OSGB-045

パワージョイント



部品番号	部品名称	個数	部品番号	部品名称	個数
ASY 102498	パワージョイント：OSGB-045	1			
1 102498-1	パワージョイント(インナ)；GB-045	1			
2 102498-2	パワージョイント(アウタ)；OSGB-045	1			
3 507170351	ピンツキヨーク；7 Ⓐ7付	1			
4 J 41207 ASY	スパイダ；7	2			
5 204176851	フィッティングヨーク(インナ)；7	1			
6 225180392	パイプ(インナ)；GB-045	1			
7 00550	クランプピン；14	2			
8 102498-8	アンゼンカバー(インナ)；GB-045	1			
9 PC 10065	スプリングピン；10×65	1			
10 687758703	クラッチ Ⓐ7付	1			
11 247006251	フェーシング	4			
12 501F 70363	パイプソキヨーク；GB-045	1			
13 102498-13	アンゼンカバー(アウタ)；GB-045	1			





本 社 066 千歳市上長都1061番地2
 TEL 0123-26-1123
 FAX 0123-26-2412

小山事業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1
 TEL 0285-49-1400
 FAX 0285-49-1410

千歳センター 066 千歳市上長都1061番地2
 TEL 0123-26-1126
 FAX 0123-23-0517

小山センター 307-02 栃木県小山市梁2512-1
 TEL 0285-49-1430
 FAX 0285-49-1440

札幌営業所 066 千歳市上長都1061番地2
 TEL 0123-22-5131
 FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070 旭川市神楽4条9丁目3番31号
 TEL 0166-61-6131
 FAX 0166-62-8985

豊富出張所 098-41 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
 TEL 0162-82-1932
 FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-24 带広市西22条北1丁目12番地
 TEL 0155-37-3080
 FAX 0155-37-5187

北見出張所 090 北見市小泉302
 TEL 0157-24-3880
 FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-11 標津郡中標津町北町2丁目16番2
 TEL 01537-2-2624
 FAX 01537-3-2540

盛岡営業所 020-01 岩手県盛岡市みたけ2丁目4番7号
 TEL 0196-41-4811
 FAX 0196-41-5529

仙台営業所 985 宮城県多賀城市町前2丁目87番地
 TEL 022-367-4573
 FAX 022-367-4846

関東営業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1
 TEL 0285-49-1500
 FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-01 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
 TEL 0587-93-6888
 FAX 0587-93-5416

松本出張所 399 長野県松本市芳野14番10号
 TEL 0263-27-0897
 FAX 0263-27-1449

岡山営業所 700 岡山県岡山市下中野704-103
 TEL 086-243-1147
 FAX 086-243-1269

熊本営業所 862 熊本県熊本市長嶺町2255-429
 TEL 096-381-7222
 FAX 096-384-3525

南九州営業所 885 宮崎県都城市北町3537-1
 TEL 0986-38-1045
 FAX 0986-38-4644